

平成 29 年 5 月 30 日

平成 28 年度  
事業報告書

社会福祉法人ファミリーユ高知

# 平成 28 年度 社会福祉法人ファミリーユ高知 事業報告書

評議員会、理事会の開催状況

## 第 1 回 評議員会・理事会

日時 平成 28 年 5 月 24 日 (火) PM6:00~PM7:15  
場所 社会医療法人近森会 近森病院管理棟 3 階 会議室 1  
議題 監事監査報告  
1 平成 27 年度事業報告 (案) の件  
2 平成 27 年度決算報告 (案) の件  
3 平成 28 年度補正予算 (案) の件  
4 障害者福祉サービスセンターウエーブクリーニング機器購入の件  
5 運営規定改正の件

## 第 2 回 評議員会・理事会

日時 平成 28 年 10 月 20 日 (木) PM6:00~PM6:30  
場所 社会医療法人近森会 近森病院管理棟 3 階 会議室 2  
議題 1 定款変更 (案) の件

## 第 3 回 評議員会・理事会

日時 平成 28 年 12 月 7 日 (水) PM6:00~PM7:15  
場所 社会医療法人近森会 近森病院管理棟 3 階 会議室 2  
議題 1 平成 28 年度 二次補正予算 (案) の件  
2 社会福祉法改正に伴う定款変更 (案) の件  
3 障害者福祉サービスセンターウエーブ  
新事業計画 (案) ~就労継続支援 A 型事業の件  
4 高知ハビリテーリングセンター 送迎車両購入の件  
5 理事・評議員欠員に係る選任の件  
報告事項  
ウエーブの移転について

## 第 4 回 評議員会・理事会

日時 平成 29 年 3 月 13 日 (月) PM6:00~PM7:50  
場所 社会医療法人近森会 近森病院 総合心療センター6F 会議室  
議題 1 平成 29 年度事業計画 (案) の件  
2 障害者福祉サービスセンターウエーブ建設の件  
3 障害者福祉サービスセンターウエーブ建設に係る資金計画の件  
4 平成 29 年度予算 (案) の件  
5 平成 28 年度三次補正予算 (案) の件  
6 評議員選任解任委員会発足及び委員の選任の件  
7 社会福祉法一部改正に伴う評議員選任の件  
8 法人役員等報酬規程 (案) の件  
9 法人役員等旅費規定改正の件  
10 アルバーテ北本町廃止に伴う運営規定改正

- および高知ハビリテーリングセンター運営規定改正の件
- 11 アルバーテ北本町解体に伴う定款改正（基本財産抹消）の件
  - 12 就業規則改正の件
- 報告事項  
新定款について

評議員選任解任委員会

日時 平成 29 年 3 月 13 日（月） PM7:50～PM8:00  
場所 社会医療法人近森会 近森病院 総合心療センター6F 会議室

# 平成28年度障害者福祉サービスセンターウェブ事業報告

施設長 西岡由江

平成27年に引き続き、平成28年もノーマライゼーションの理念のもと【できるだけノーマルに近い生活、就労の場を提供すること】を意識し、自己のライフスタイルを主体的に選択し、自立できるよう支援にあたり、3つの事業は順調に事業展開することができました。特に就労継続支援B型事業のクリーニング部門は、昨年の洗濯物価格改定により、就労事業収入が全体の76.2%を占めるようになりました。法人理事会、評議員会でも就労収入の伸びが利用者工賃に反映される事業の工夫をとのご指摘をいただきました。そこで、CHIビルの1階の改装と大型洗濯機及び大型乾燥機を購入し、就労継続支援事業所A型を立ち上げる準備を行いました。作業内容の見直し・利用者へのA型事業説明と能力アップ支援・支援員の増員など、ハード面の改善とソフト面の充実に力を注いだ1年でした。結果、平成29年4月より就労継続支援事業A型「OWNパス(own path)＝自分の道」を立ち上げることができました。働き盛りの精神障害者が多く通所する特徴を持つウェブで、このA型事業を立ち上げることは、病状不安定な状態を持ちながらも一般就労したいと希望を持ってB型に通所する利用者にとって、身近に一般就労に近づくモデルが存在することとなり、イメージしやすく更なるステップアップへの動機付けに繋がると考えます。このウェブが障害をもたれた方の終の職場とならず地域発信できるよう支援していきたいと考えます。

また、社会福祉法人ファミーユ高知は2004年10月に設立され、2006年に近森正幸理事長が就任されて10年を迎えました。10月には開所10周年を記念し、大阪の三家クリニック院長はじめ多職種の皆様に来高いただき、記念セレモニーを盛大に行う事ができました。来年には北本町に新築移転を予定し、高知駅前の立地条件を活かし、障害者の就労をサポートするセンター機能として更なる展開をしていく予定です。

以下3事業所の今年度の実績を報告します。

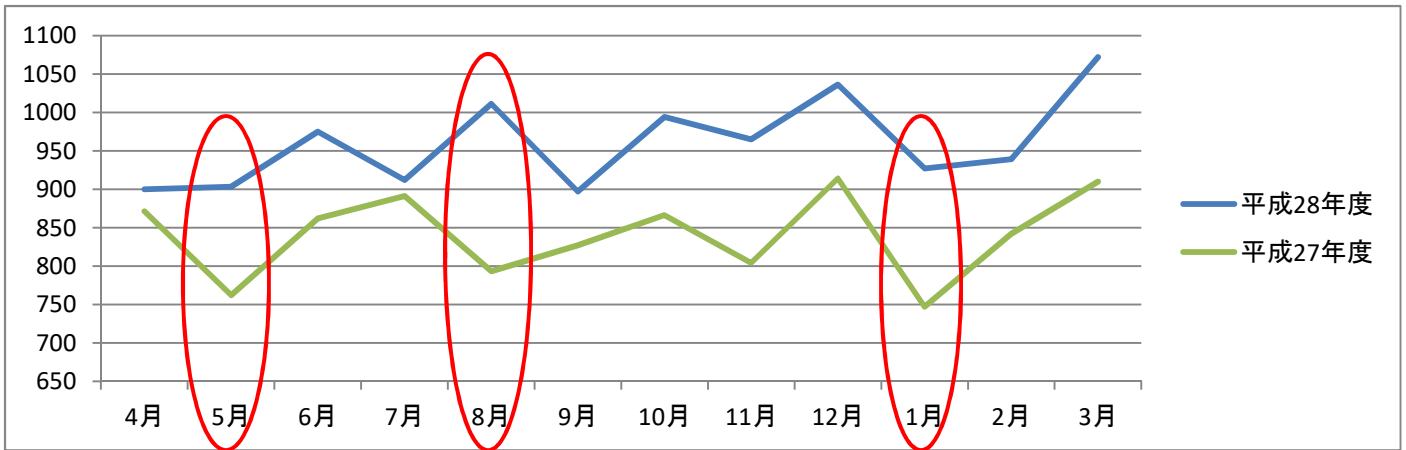
## 1、 障害者福祉サービスセンターウェブ（就労継続支援B型事業所スウェル）

■登録者数は登録目標を75名とし、平均72.8人で推移しました。延べ利用者人数も1ヶ月平均953.0（前年比+112.2）と増加し、1日平均も35.8名（前年比+3.3）増えています。「(表①) 参照」後でも述べますが、利用終了者(ドロップアウト者)が減り、ひとりひとりの利用日数が安定して増えたことが要因と考えられます。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成28年度 平均	平成27年度 平均
登録者	71	72	71	70	72	73	74	74	74	75	75	73	72.8	69.4
延人数	900	903	975	912	1011	897	994	965	1036	927	939	1072	953.0	840.8
一日平均	34.6	34.7	37.5	33.8	37.4	34.5	38.2	37.1	38.3	35.7	39.1	38.3	35.8	32.5

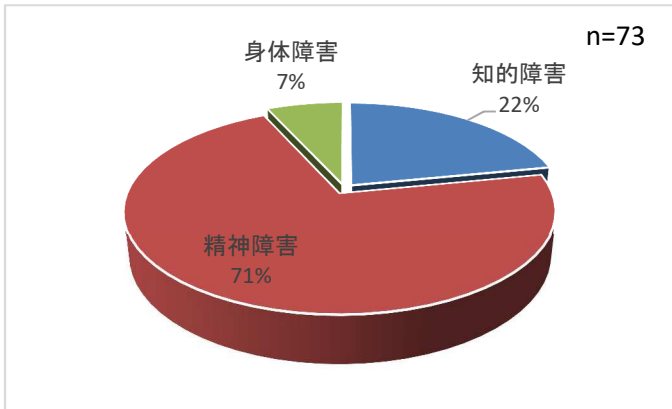
■月毎延べ利用者数を平成27年と比較しグラフに表しています。「(グラフ①) 参照」1月から右肩上がりに変化しています。特徴であるのが5月・8月・1月の変化です。昨年までゴールデンウィークなどの祝日は、クリーニング部門だけが稼働していましたが、納期のある仕事が長期間にわたり中断となる事と、利用者アンケート調査にて軽作業部門も開所してほしいという要望が聞かれたため平日同様に開所しました。結果、利用者にとって安定した工賃収入となり、働いてよかったとの声がきかれました。この体験をきっかけに、お盆シーズンや年末年始の仕事に対する意識変化がおこり、極端な減少の数値にならず安定した利用者数になっていると考えます。

グラフ① 月毎延べ利用者

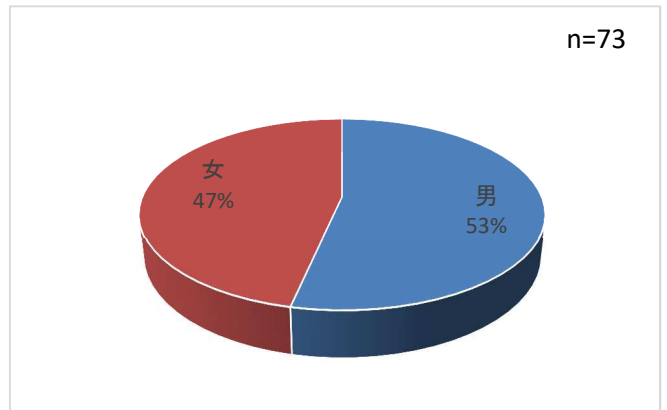


■登録利用者の障害別では精神障害者が 52 名 (71%)、知的障害者が 16 名 (22%)、身体障害者 5 名 (7%) でした。「(グラフ②) 参照」登録者数は増えていますが、障害別割合も昨年とほぼ変わりなく精神障害者の多い事業所という特徴がみられました。性別では、男性 39 名 (53%) 女性 34 名 (47%) で大きな男女差はありません。「(グラフ③) 参照」

グラフ② 障害別

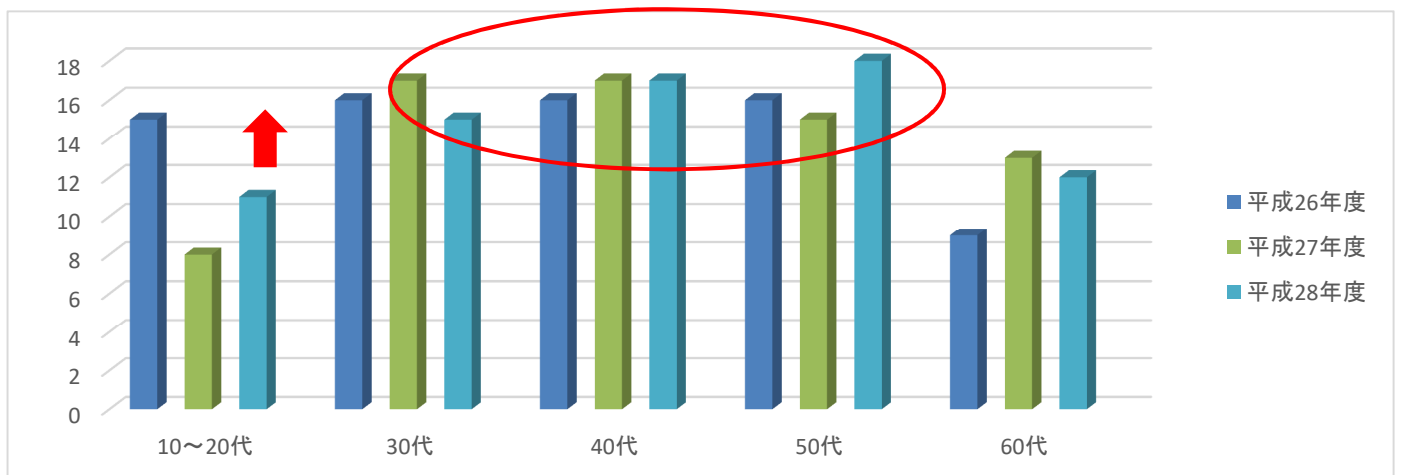


グラフ③ 男女別



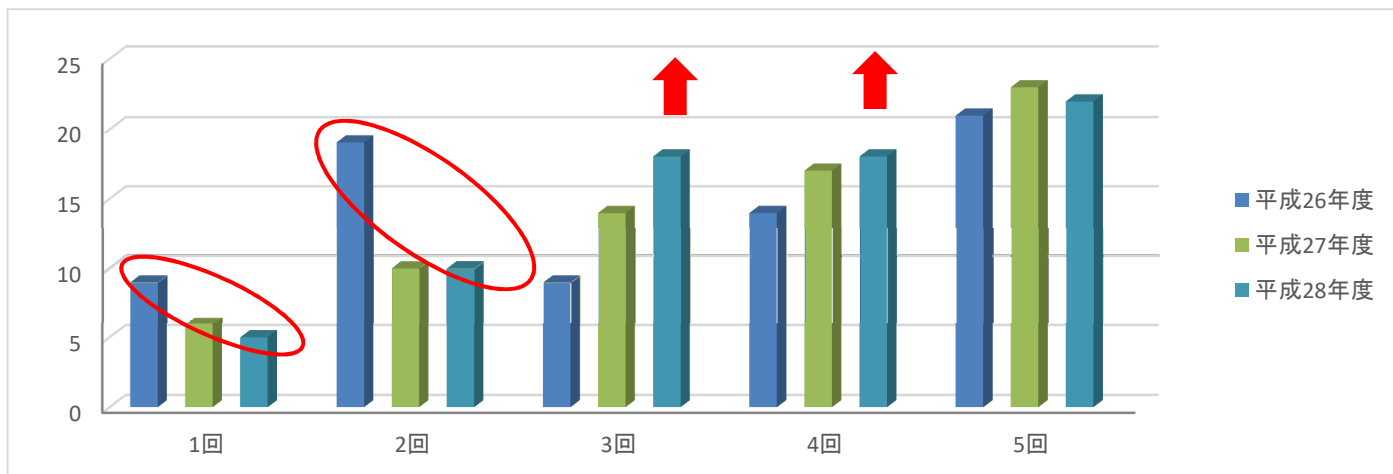
■年齢別では、平成 27 年に比べ 10~20 代が増えていますが、全体的には 30~50 代の働き盛りの年代が就労の場所を求めていることが伺えます。「(グラフ④) 参照」当事業所がストレングスの視点で利用者を捉え、就労意欲や体力面、コミュニケーション能力の向上を意識した通過型の事業所を掲げて支援してきた結果と考えます。

グラフ④ 年齢別



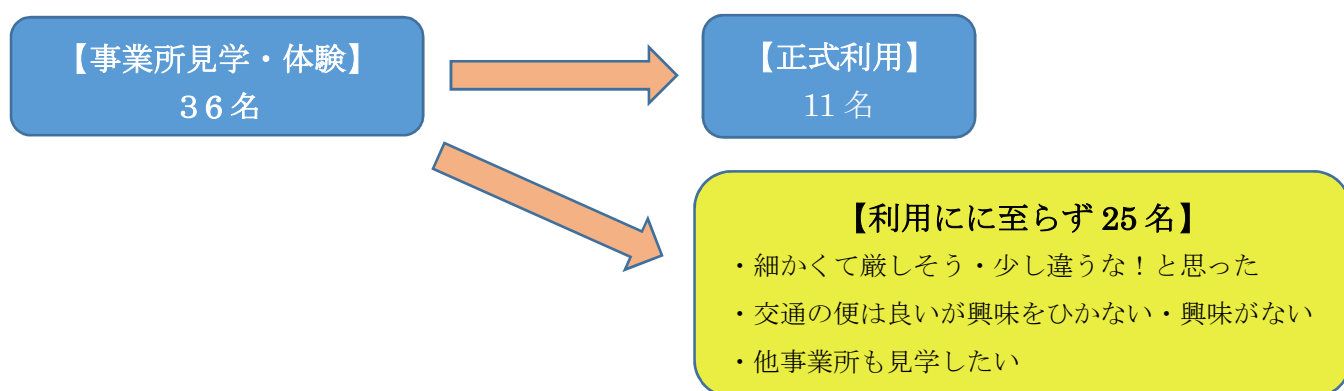
■利用頻度別にみると、1週間のうち1～2回と利用頻度が少ない利用者が減り、3～4回が増加しています。「(グラフ⑤) 参照」これは、利用初期の導入時に比較的負担の少ない利用回数(2回/週が開始ベースライン)から始め、定期的な評価を実施し、スモールステップにて利用時間、利用日を増やしていったことが変化の要因と考えます。利用頻度の増加は、利用者にとって目に見える結果として工賃アップにつながり、さらにはもっと仕事がしたいというモチベーション・自信回復に変化しています。

グラフ⑤ 利用頻度別



■事業所見学希望の流れを図に示しています。「(図①) 参照」1年間で32名の見学・体験者があり、そのうち正式利用に至ったのが7名でした。体験につながらなかった25名からは、細かくて厳しそう、少し違うなと思った、交通の便は良いが興味がひかない、他の事業所も見学したいなどが理由として聞かれました。紹介元も近森病院総合心療センターデイケアをはじめ医療機関、高知市就労促進員、高知市障害者相談センターなど様々な支援者からの紹介がありました。全ての希望をかなえる事業展開はできませんが、ウェブだからこそできる支援の幅を広げながら利用者を獲得していきたいと考えています。

図① 事業所見学の流れ



■新規利用者内訳です。「(表②) 参照」昨年1年間で11名の方が入所されました。年齢別では、30代以下が4名で、性別では男性が若干多く、障害別にみると精神障害者が7名と多く、疾患名も統合失調症のみならず、人格障害・強迫性障害・躁うつ病・アルコール依存症など多様化しています。

表② 新規利用者内訳		性別		障害種別			
		男性	女性	精神	知的	身体	
11名 (総数)	30代・未満 4名 (うち)	2	2	2	人格障害 統合失調症	2	0
	40代 2名 (うち)	1	1	1	統合失調症	1	0
	50代 3名 (うち)	1	2	3	統合失調症 強迫性障害 躁鬱	0	0
	60代 2名 (うち)	2	0	1	アルコール依存症	0	1
合計	11名	6	5	7		3	1

■退所者は6名で、転機内容は1名が他事業所（高次脳機能障害専門事業所）へ移行し、2名が65歳を超えられ定年退職し、3名が体調不良にて長期精神科入院にて退所となりました。今年も、一般就労へつながった方はいませんでした。ウェブ内に立ち上がるA型事業所に向けてチャレンジしたい希望者が多く、B型から移行できるように個々の課題を明確にして丁寧に支援を行いました。今春B型からA型（オウンプス）に4名がステップアップし雇用契約を結ぶことができました。

以前は、入所してから1年未満の中断者が、平成26年31%、平成27年42%と多くみられていました。理由は「思っていた仕事ではなかった」「違う事業所へ行きたい」「病状が不安定で来ることができない」「精神科に入院した」などでした。そこで、利用導入期（入り口）の工夫を試み、①体験時の査定での個性性を重視し丁寧にいき、出来ることからはじめ成功体験を増やす。②働きたい動機に対して迅速な入所の流れを工夫（セルフプランの活用）③利用日の最低ベースラインを2日/週で設定④病状の不安定さを一緒に乗り越えるためにクライシスプランの作成（紹介元と一緒に作成）を掲げ取り組みました。結果今年入所された利用者は1人も中断されておらず、利用日増へと繋がっています。ウェブとしてどんなに病状が重くても、本人が「就労したい」とモチベーションを持っておられる事と、繋いでいただいた支援者が利用者をストレングスの視点で捉え、希望志向に支えていただけている方なら断らず、無理だと判断せずに働く支援を行う事を基本的な入所の観点・考え方として打ち出し、今後も取り組んでいきたいと考えています。

■作業科目は、**クリーニング作業**、**施設外委託（公益事業）作業**、**販売作業**の3つを柱に、様々な就労体験ができるよう支援し、実施した内容にあった対価がいただけるように、品質保証・価格交渉などに力を注ぎました。作業科目は多様ですが、利用者の就労意欲や意思決定を大切に尊重しており、難しい内容であれば補助具の作成や作業環境面への配慮を行っています。利用者に対して働きやすい環境作り、支援サポートを行うことを念頭に置きながらも、その反面製品に対してのこだわりや品質に関しては一般企業と同じレベルのものが必要であると考えなければならないところもありこのバランス感覚が職員には求められています。

■作業事業収入は、月平均クリーニング業で288万円（昨年より+16万円）軽作業48万円（昨年より±0万円）、施設外（委託）作業32万円（昨年より+4万円）、販売作業9万円（昨年より+2万円）でした。クリーニング・軽作業共、品質にこだわり丁寧かつ納期を厳守しコツコツとした日々の努力が受注元との信頼関係を生み、途切れない作業を受けることができ収入アップにつながったと考えます。

■利用者工賃は、時給 100 円～560 円と幅があります。「(表③) 参照」室内で行う軽作業より施設外就労及びクリーニング業などに従事できる利用者の時給が高い状況にあります。月平均工賃は 17,852 円（昨年比+4,077 円）、最高工賃受給者はクリーニング業で働いている方で 1 ヶ月 70,000 円前後、軽作業で 40,000 円前後、最低の方は軽作業で 500 円前後となっています。工賃改定見直しは年 2 回、個人工賃算出チェックリストを用いて日常生活・対人関係・作業能力・作業態度の評価を実施しています。平成 28 年度工賃実績（時給換算）332 円（前年度 297 円）

表④ 利用者工賃		※ 平成29年3月の工賃より算出(対象者73名)					
	100円～ 149円	150円～ 199円	200円～ 249円	250円～ 299円	300円～ 349円	350円～560円	合計
軽作業	3	8	26	20	3	0	60
クリーニング	0	0	0	3	3	7	13

■利用者研修は、就労に必要な知識やマナーを中心に年 6 回の研修を実施しました。「(表④) 参照」座学的な研修だけではなく仕事場から離れて交流する季節ごとの研修会として、愛媛県西条市にある「コカ・コーラ小松工場見学」、秋は、いの町にある「紙の博物館」見学と「河川敷でバーベキュー」を実施しました。

表④ 利用者研修実績

日時	研修題名	講師等	研修内容	参加人数
5/25	委託作業を請けるとは	ウェブ支援員	ウェブで行っている委託作業について詳しく解説し、今後の課題について考えてもらう	41名
6/21～	トイレのマナー講習	ウェブ支援員	12グループに分かれてトイレのマナー講習を行う	65名
7/13	震災から学ぶ	高知DMAT 野瀬 貞暁 先生	災害についての知識を深め、今後起こりうる地震に備えた意識を高める	40名
9/13～	ウェブのルールについて考える	ウェブ支援員	ウェブを利用するうえで必要となるルールについて、グループに分かれて説明し意見を出し合う	69名
12/6	音楽療法 音楽に合わせて心も体もリフレッシュ!	森岡 由紀 先生	季節に合わせた曲を聴きながら、体を動かし心身の活性化を図る	46名
1/11	ぜんざい&新年を迎えるの会	ウェブ支援員	今年ウェブでチャレンジしたいことを考えてもらい「〇〇力」としてあらかず	49名

■職員のキャリアアップは、近森病院主催の疾患理解の講演や高知県・高知市が主催する研修会に積極的に参加し学習する機会をもちました。「(表⑤) 参照」就労支援事業所に求められる職員の専門性とは、個々の利用者の持つ能力を活かし仕事の中でさらに引き出していくことであり、そのためにはコミュニケーションを充分にとってストレングス視点で把握していくと共に、仕事を通じて日常的な利用者の“能力”向上を図る支援の力が必要とされています。さらに各作業種目に必要な専門スキル研修（クリーニング師研修・サービス管理責任者・目標工賃達成指導員など）などの学習会に積極的に参加しました。今後も現状に満足するのではなく幅広い分野に対応できる知識やスキルを獲得していくことが継続課題です。今年、研修資格のあった西岡由江が「サービス管理責任者（就労分野）」の認定研修を修了しました。



表⑤ 職員研修実績

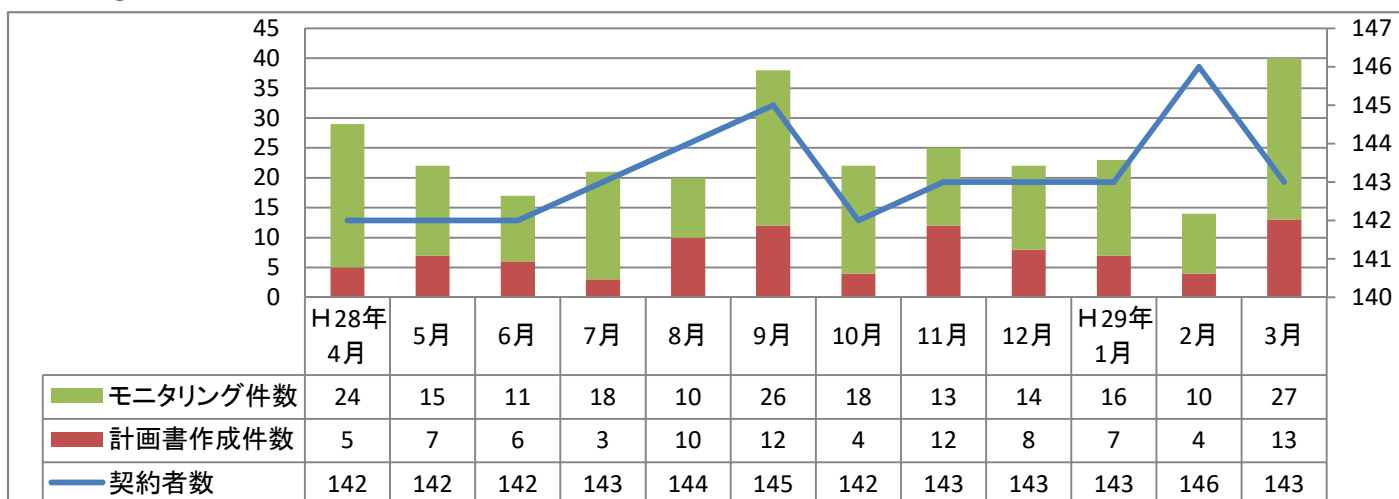
平成28年度 職員研修実績報告

日時	研修プログラム	委託先等	参加者名
H28.6.17	いま私達ができることを考えよう ～熊本震災から学ぶ～	高知県精神障害者 地域生活支援施設連合会	池寛正 松坂みぎわ
H28.6.21	普通救命講習	高知市防火管理者協議会	蒲原江里香 大原聡一郎
H28.7.11 H28.7.13 H28.7.20	就業支援基礎研修	独立行政法人 高齢・障害・求 職者雇用支援機構	森脇大輔
H28.6.27～ H28.9.5	マインドフルネス・スキルトレーニング 『今を味わう生き方』(全10回)	近森病院 総合心療センター	川村健太
H28.7.20	統合失調症について	近森病院 総合心療センター	池寛正・大原聡一郎・ 蒲原江里香・佐藤義明・ 根木紀佳・松江珠里・ 松坂みぎわ・水野慶子・ 森脇大輔
H28.7.23 H28.7.24	生活機能訓練(SST)初級コース	近森病院 総合心療センター	蒲原江里香 大原聡一郎
H28.7.27～ H28.7.29	岡田先生新人研修		蒲原江里香 大原聡一郎
H28.9.6	チームワーク向上研修セミナー	ツクイスタッフ	西岡由江・森脇大輔・ 大原聡一郎・松坂みぎわ・ 蒲原江里香
H28.9.21	疾患理解研修会	近森病院 総合心療センター	西岡由江・佐藤義明・ 根木紀佳・松坂みぎわ
H28.10.5	施設内感染対策研修会	高知市保健所	川村健太 水野慶子
H28.10.7 H28.10.8	日本脳障害友の会 第16回全国大会	NPO法人 日本脳障害友の会	高橋七瀬
H28.10.28	発達障害者就労支援セミナー 『ひとりでも多くの発達障害者の方の輝くキャリアを実現 したい!』	高知県立療育福祉センター	川村健太 松坂みぎわ
H28.11.7 H28.11.8	障害者職業生活相談員資格認定講習	独立行政法人 高齢・障害・求 職者雇用支援機構	松坂みぎわ
H28.12.3 H28.12.4	就労支援フォーラムNIPPON2016	日本財団	池寛正 松坂みぎわ
H29.1.27	水害・砂利災害への備えに関する要配慮者 利用施設の管理者向け説明会	高知県地域福祉部	池寛正 松坂みぎわ
H29.2.2	実践対応力を身に付けよう ～グループワークによる問題解決技能トレーニングの体 験と活用～	高知県立療育福祉センター	佐藤義明
H29.2.2 H29.2.3	事業所見学 (福)福祉楽団・(株)円グループ		西岡由江 川村健太
H29.2.5	クリーニング師研修会	公益財団法人全国生活衛生 営業指導センター	池寛正 森脇大輔

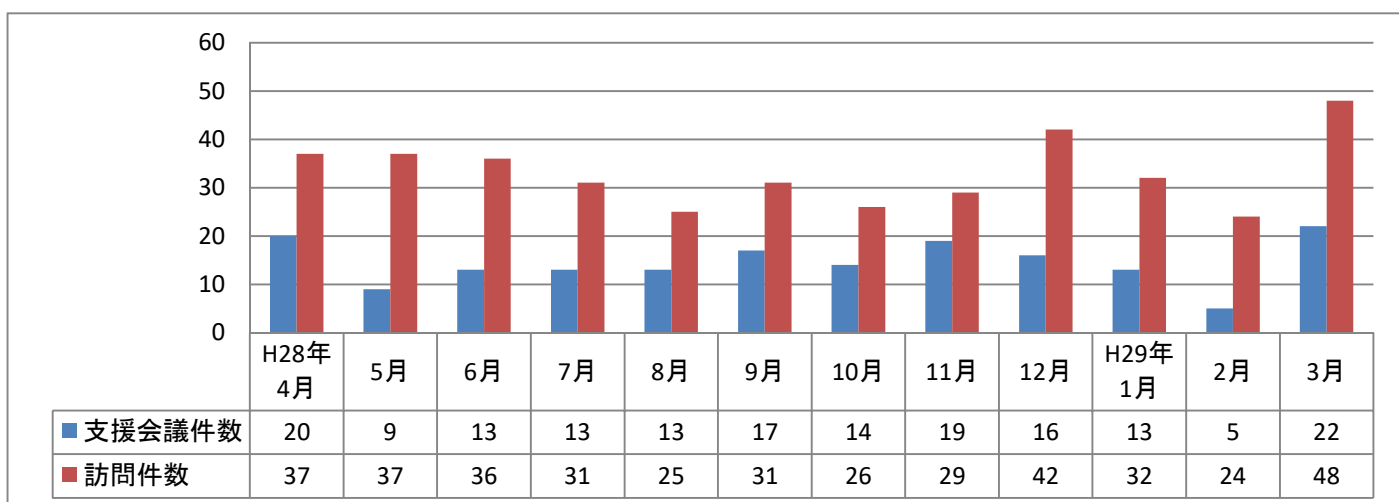
## 2、 障害者福祉サービスセンターウェブ相談支援事業所

当事業所は平成 25 年 4 月に開所し、4 年が経過しております。平成 28 年度の契約者数は、年間で新規契約が 17 名、契約終了が 9 名であり、142 から 146 件の相談契約を受けています。「(グラフ①) 参照」新規契約者やサービス変更による計画書作成件数は総数 79 件（昨年 76 件）で月平均 6.5 件、計画作成後のモニタリングでも月によって変動がありますが、月平均 17 件と多忙な 1 年であったことがわかります。支援会議件数は、月平均 14 件、訪問件数は月平均 33 件で、支援会議や訪問以外にも生活相談や様々な対応を行っています。「(グラフ②) 参照」相談支援業務は、相談業務以外でも作成する書類が多く、申請手続きまでの手順の複雑さに加え、モニタリング訪問や利用する事業所等との支援者会議の調整を行ったり、受け持つ件数が増えれば増えるほど業務が増えています。グループホームから一人暮らしなど生活状況の変化に伴うサービスの見直し、日中活動場所の変更等が多くあり、関係機関との連絡調整、担当者会、訪問、見学等密に関わりが必要な契約者が多いことが特徴といえます。人員配置で課題であった、相談支援専門員の増員に対して、高橋七瀬相談支援員に加え、相談専門員の資格を有する根木紀佳支援員を配置（0.5 人/就労支援員と兼務）し、業務負担の分散を行いました。

グラフ① 相談支援実績



グラフ② 支援会議・訪問件数実績



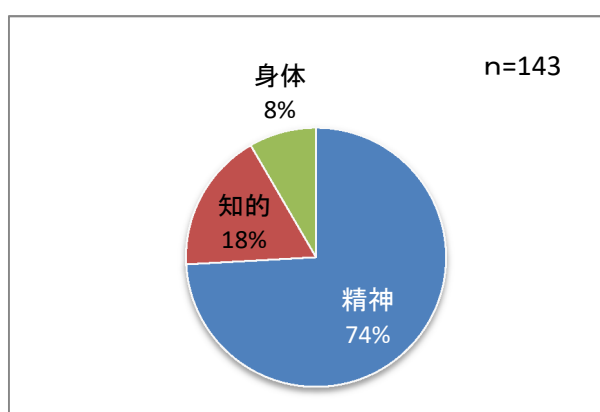
■ 契約者の受給者証発行元の市町村別にみると、高知市が 92 件と最も多く次に委託事業を受けているいの町が 34 件となっています。「(表①) 参照」相談支援業務は、自宅や自宅近くの事業所等へ出向いての相談が多いため、時間やスケジュール調整が必要とされています。さらに、膨大な書類作成が業務として必須であり、時間、書類などの業務管理を意識することが能力として求められています。

表① 市町村別担当表

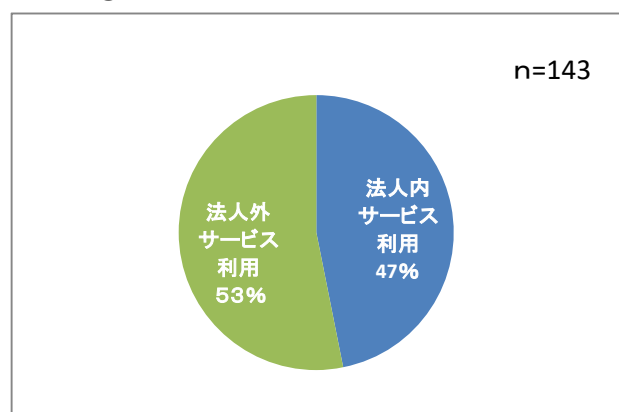
高知市	安芸市	南国市	香南市	香美市	須崎市	四万十市	土佐町	いの町	仁淀川町	佐川町	四万十町	三原村	宮崎市	合計
92	1	2	2	1	1	1	1	34	1	4	1	1	1	143

■契約者を障害別に見ると、精神障害者が106名と全体の74%を占めています。他は知的障害者が25名(18%)、身体障害者が12名(8%)でした。「(グラフ③)参照」当事業所の就労支援部門とグループホームポルト利用者の約9割の特定相談支援を担っていることで、精神障害者の契約数が多い特徴があります。契約者登録143名を法人内と法人外の所属別に見ると法人内が67名(47%)、法人外が76名(53%)と同法人内だけの相談支援ではなく、地域でサービスを必要としている障害者への相談件数が増えています。「(グラフ④)参照」疾病と障害の両方を抱えている精神障害者にとって生活のしづらさなど抱える課題が多く、契約者ひとりひとりのニーズにあったサービス利用に向けてのマネジメント能力を高めることが求められています。

グラフ③ 障害別

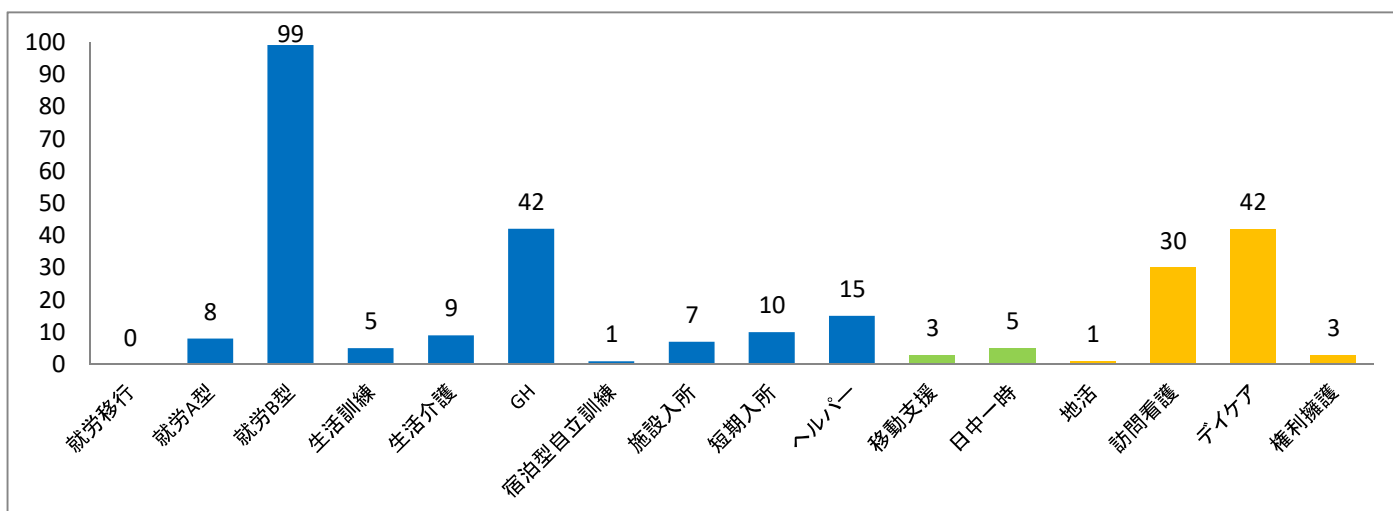


グラフ④ 利用者所属別



■利用サービス別にみると、就労継続支援B型事業所利用が一番多く99件、続いてグループホーム利用が42件、ヘルパー利用15件、生活介護9件、就労A型8件となっています。「(グラフ⑤)参照」デイケアや訪問看護の値も高く、精神障害者の支援の特徴といえる医療と福祉の両輪で支えている現状がうかがえます。この表は、利用者が重複して使っているサービスとして掲載しており、昨年以上に多様なサービス資源を活用し社会生活を送られている実態がみられます。今後も一層他機関との連携を図り、契約者の方の将来の生活を一緒に考え、充実した毎日を送れるようお手伝いをしていきたいと考えています。

グラフ⑤ 利用サービス別内訳



### 3、グループホームポルト（共同生活援助）

知的障害者、精神障害者、身体障害者が「世話人等」の支援を受けながら、複数で共同生活する居住の場で、平成22年にポルトを開設し、定員12名(男性6名・女性6名)で通過型のホームとし、自立訓練支援を行っています。

■定員12名に対する年間実績は下記に示す通りで、2月に30代の女性（統合失調症）が1名入所され稼働率99.3%で、ほぼ空室なく運営できました。「(表①) 参照」障害別にみると入居者の92%が精神障害者であり、年齢は、生活能力を獲得して自立生活に移行する若者層（20から30歳代）と、入退院を繰り返し次へのステップが難しい高齢層（50から60歳代）の二極化が見られています。

表① 年間実績(稼働率)

平成27年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成28年度稼働率	平成27年度稼働率
登録者	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	12	10	97.9	94.4
男性	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	6	6	98.6	100.0
女性	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	4	97.2	88.9

\*稼働率…満室を100%とした時の数値

■利用期間別に見ても1年～1年未満が2名、3～5年が8名、となっています。「(グラフ④) 参照」利用期限は明示してはいませんが通過型のGHとして支援しており、5年以上利用している利用者が多い現状にあります。高齢化・金銭的困窮・病状不安定など様々な生活のしづらさがあるため、時間をかけながらご本人が望まれる生活に移行できるように個別性に配慮しながらかかわっていく必要があると考えます。

表② 入所期間別

入所期間	
1年未満	1
1年	1
2年	0
3年	4
4年	1
5年	3

■年間行事では、ケース検討とケア技術の向上、知識向上のため毎月世話人会を実施し、生活全般にわたって入所者一人ひとりに応じた個別支援を心がけました。季節に応じたお楽しみメニューに加え、クリスマスや忘年会など様々な行事やレクリエーションなども行い、生活を楽しむということにも力を注ぎました。

■来年はCHIビル立ち退きに伴い、グループホーム「ポルト」を閉所することが決まっています。ポルト終了に伴い、入居者の次の生活空間探しを丁寧に行う予定です。病状悪化や生活困難な状況に至らないよう配慮し、残り少ない時間ではありますが、ポルトで生活してよかったと思っただけのよう、世話人と共に最後まで支援したいと考えています。

## 平成 28 年度 高知ハビリテーリングセンター事業報告

### 総評

平成 28 年 4 月 1 日より障害者差別解消法が施行され、すべての障害者に対して、あらゆる場面において合理的配慮が求められるようになりました。ところが、その傍らで障害者支援施設での殺傷事件という人として尊重されるべき「人権」が否定される痛ましい事件が起きました。日本中に大きな衝撃を与えた出来事です。

福祉サービスの供給体制の整備及び充実を図るための社会福祉法等の一部を改正する法律案により、平成 29 年 4 月からの経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上や財務規律の強化等、社会福祉法人制度の改革が求められた背景といい、この事件は、社会福祉法人や障害者支援施設の印象を更に悪化させたと言っても過言ではないでしょう。

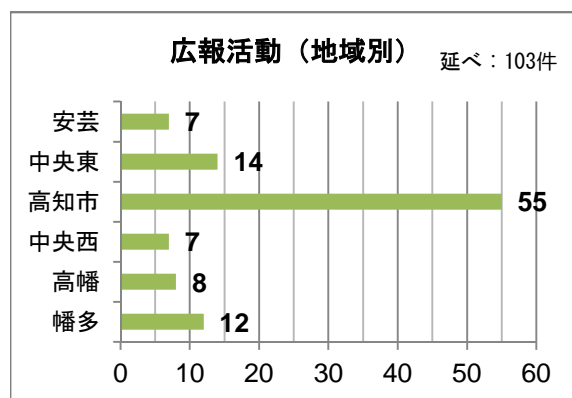
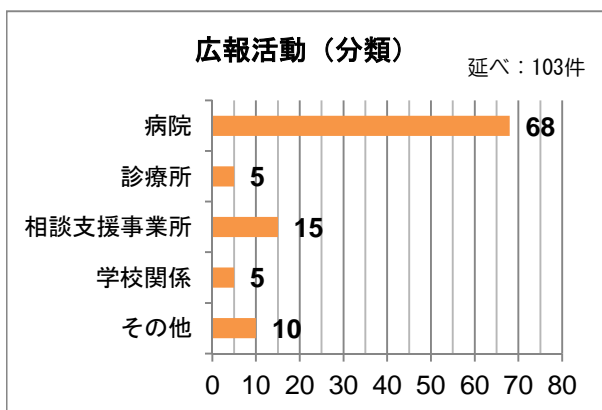
さて、高知ハビリテーリングセンターは、平成 26 年度、27 年度に引き続き、平成 28 年度も好成績で終わることができました。そして、当センターの機能・役割・使命と、多機能型で運営することの有効性および有利性を発揮し、障害者一人ひとりに応じた支援、そして専門職として提案がする力をつけていくことを全職員の目標として臨みました。その取り組みの一つとして、毎月ある職員会において全職員が全事業を知る為に各事業の説明及びあり方を考える時間としました。

いずれの事業も課題はあり、平成 29 年度はそれらの課題を一つずつ解決していくことはさることながら、対人援助者としての自覚、常に利用者にとっての大きな「環境因子」であることを忘れず、意味のある支援を展開していきたいと考えます。

### ■ 広報活動

グラフ 1

グラフ 2



上のグラフ 1, 2 に示しますように、平成 28 年度におきましても、事務長とソーシャルワーカーが週に一回ペースで継続して広報活動を行いました。これまでの広報活動から先方の求める内容をわかりやすく説明するための冊子を検討、当センターB型で印刷したものを活用しました。その結果として、これまでに相談のない機関からの利用相談もあり、実際に利用につながったケースもありました。これまでより更に、他機関とのつながりが増えつつあることを実感しています。

	事業名	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日中支援	機能訓練	26	26	25	26	27	28	29	30	29	29	30	29	28
	生活訓練	8	11	11	12	12	12	13	13	12	12	12	12	11
	生活介護	6	14	11	11	11	12	12	13	13	13	14	14	13
	就労移行	10	14	14	14	15	13	13	14	14	14	16	14	14
	B型	50	94	93	94	95	98	98	95	98	97	99	100	102
夜間支援	施設入所	40	35	34	37	37	38	38	40	39	39	38	40	40
	ハビリホーム	36	36	35	34	36	35	35	34	36	36	36	36	36
	短期入所		100	100	101	106	109	109	101	115	115	118	118	118
	キョール	10	73	74	76	76	77	79	81	81	81	83	84	84

いずれの事業も定員には達しており、一日あたり障害児者ともに120～130名の方が訓練や生産活動に臨んでいます。

■地域貢献・地域に開かれた施設づくり

3年目の「ハビリ地域フェスティバル」は小雨の決行となりましたが、当日早朝にテントを張り、悪天ではありましたが約200名の来所があり、地域の方々も出店していただくなど盛会イベントとなりました。また、地域の恒例行事である草刈り、夏祭り、秋祭りにも欠かさず参加しました。

平成28年度2月には「地域交流委員会」を立ち上げることができました。これまで以上に親交を深め、地域貢献をしていきたいと考えています。

地域交流委員会 委員名簿

表2

	氏名	所属	役職
1	横山 信行	内ノ谷自治会・民生委員	会長
2	前田 和彦	春野地区民生委員児童委員協議会	会長
3	久保 協子	春野町連合婦人会	会長
4	市川 素子	医療法人永島会 永井病院	理事長
5	長崎 敬治	特別養護老人ホームはるの若菜荘	施設長
6	杉村 知之	高知市立春野東小学校	校長
7	窪田 育弘	高知市立春野中学校	校長
8	下司 眞由美	高知県立春野高等学校	校長
9	川村 康夫	高知県立若草特別支援学校	校長
10	植野 弘子	うららか保育園	園長
11	今村 文哉	春野地区社会福祉協議会地域協働課	

平成 28 年度 障害者支援施設高知ハビリテーリングセンター  
自立(機能・生活)訓練事業報告

1. 利用者状況

(1) 延べ利用者数合計の推移(22-28 年度)

<機能訓練(身体 1.5 年)>

グラフ 1

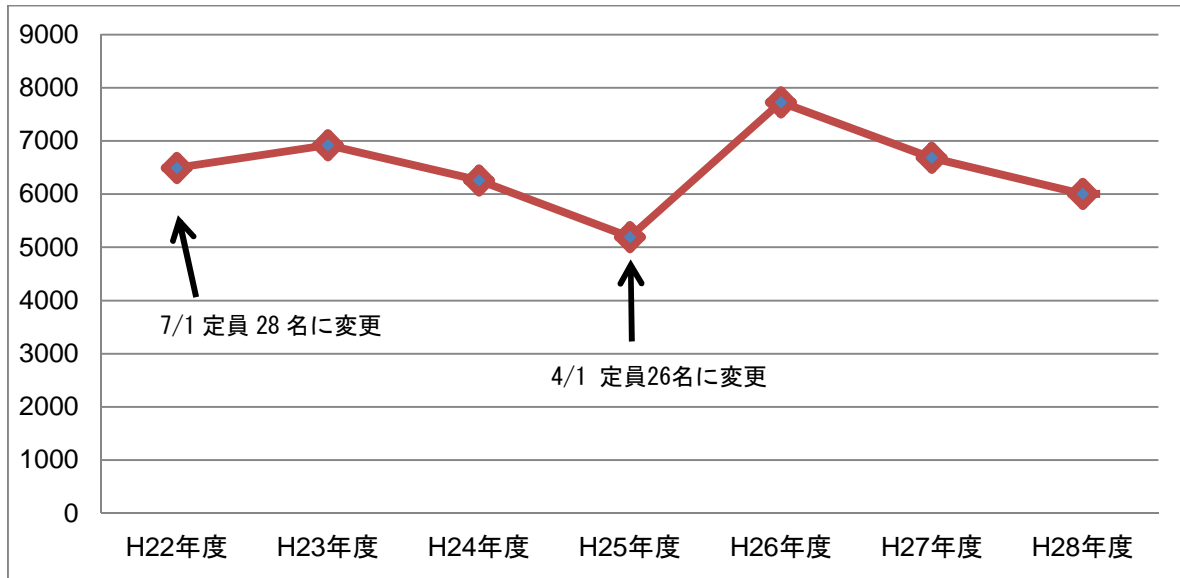
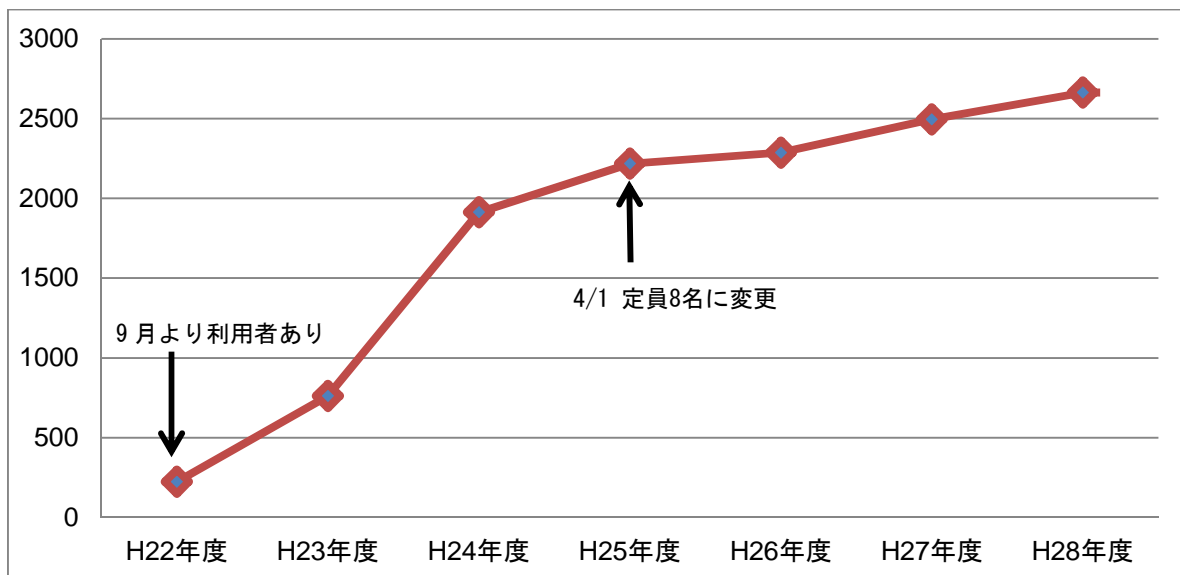


表 1

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計	月平均
H22 年度	671	542	670	494	550	521	559	539	463	445	467	573	6,494	541.166
H23 年度	558	551	700	664	731	685	542	491	470	477	498	552	6,919	576.583
H24 年度	523	638	621	613	640	549	541	496	410	418	396	412	6,257	521.416
H25 年度	417	402	389	451	460	443	463	436	427	406	406	494	5,194	432.833
H26 年度	616	607	667	741	717	663	685	571	669	585	582	625	7,728	644
H27 年度	640	558	636	661	663	572	547	462	519	468	454	502	6,682	556.833
H28 年度	494	451	486	497	500	514	543	501	490	500	491	535	6,002	500.166

<生活訓練(知的・精神 2 年)>

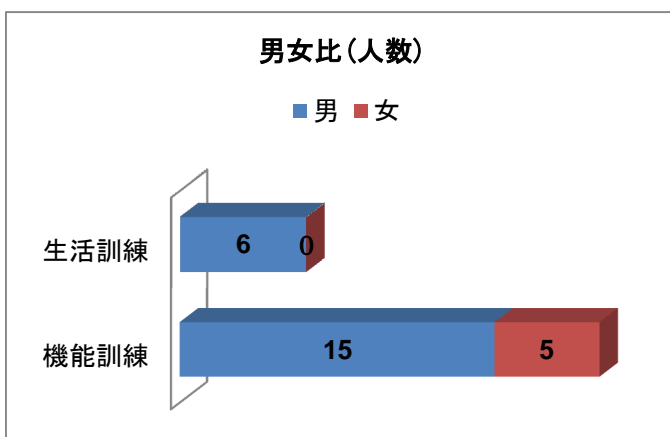
グラフ 2



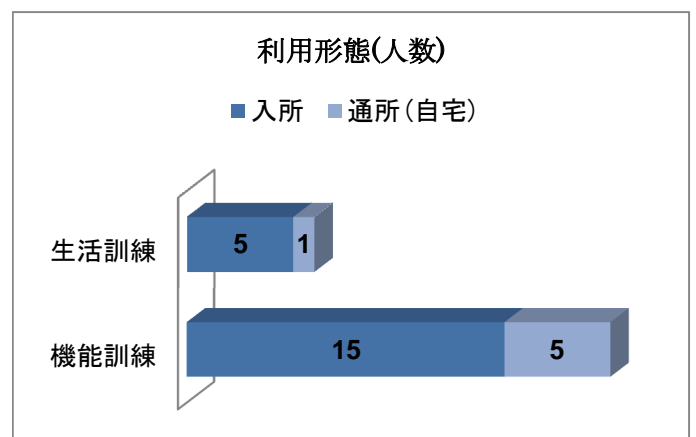
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
H22年度	0	0	0	0	0	20	20	20	23	38	39	64	224	18.666
H23年度	80	58	66	59	66	60	68	70	63	56	51	64	761	63.416
H24年度	110	153	150	147	186	162	199	190	158	154	140	164	1,913	159.416
H25年度	185	182	187	196	194	182	194	196	159	183	175	184	2,217	184.75
H26年度	165	175	174	163	164	208	243	199	220	195	184	197	2,287	190.583
H27年度	204	186	234	227	207	187	211	194	235	195	208	207	2,495	207.916
H28年度	194	202	225	209	210	209	219	246	244	243	226	236	2,663	221.916

(2) 新規利用者(機能訓練 20名・生活訓練 6名)の概要

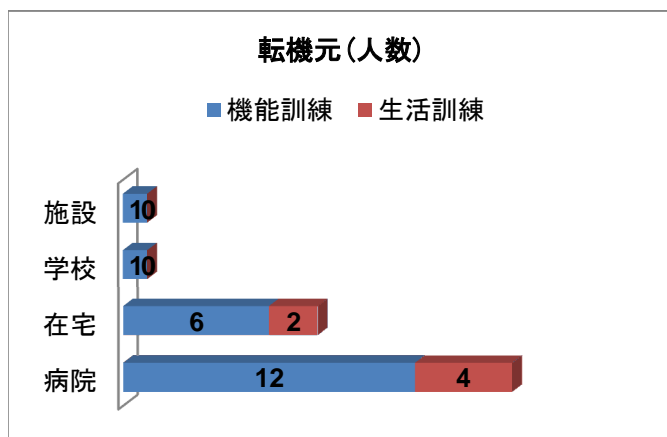
グラフ 3



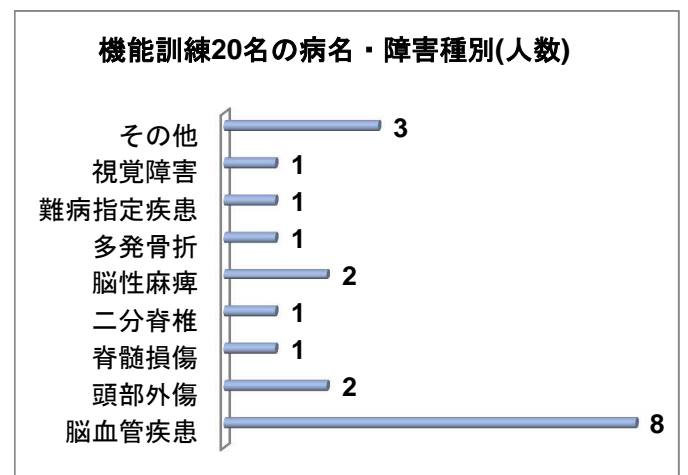
グラフ 4



グラフ 5

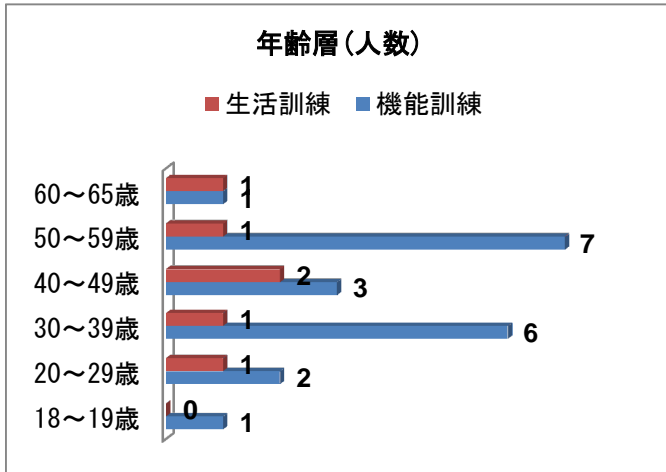


グラフ 6

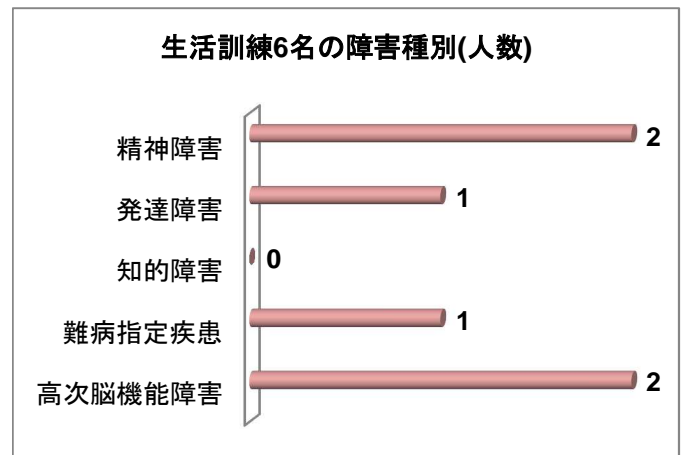




グラフ7



グラフ8

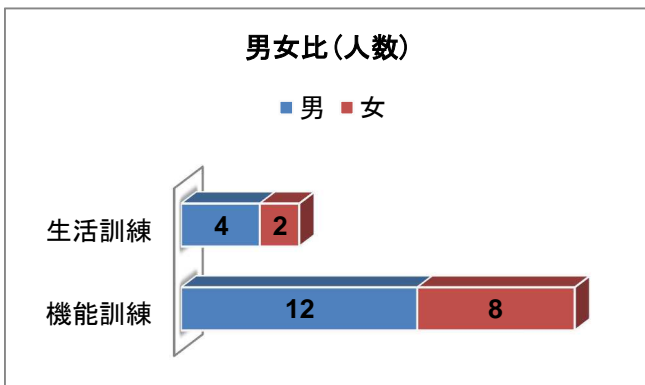


機能訓練は病院からの紹介が圧倒的に多く、病院からの生活訓練への紹介4名は高次脳機能障害のある方です。生活訓練は利用定員数が少ないこともあり、待機者がいる状況が継続しています。新規利用者の平均年齢としては機能訓練43.2歳、生活訓練42.7歳となっていますが、知的障害者の特別支援学校卒業生の利用がないことから生活訓練の平均年齢が高くなっています。

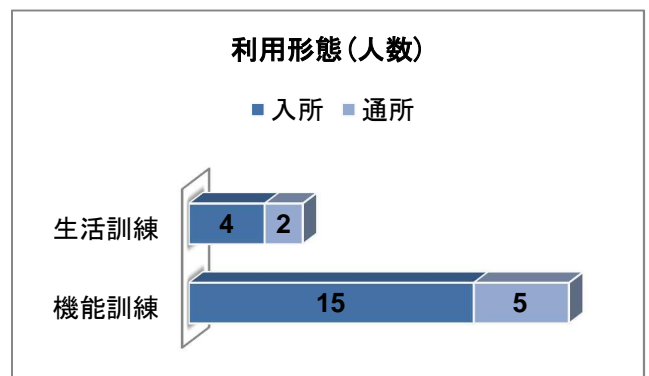
また、介護保険との弊害につきましては、第2号被保険者の場合は病院から在宅復帰されていた方が、ケアマネや訪問看護等の地域スタッフから利用へとつながることも増えてきました。これは、高次脳機能障害支援拠点としての地域研修会や、週に一度の広報活動による成果も大きいと考えます。

(3) 終了者の概要(機能訓練20名・生活訓練6名)

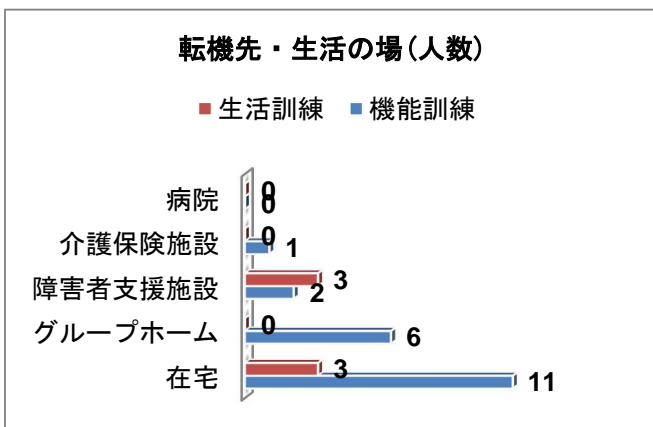
グラフ9



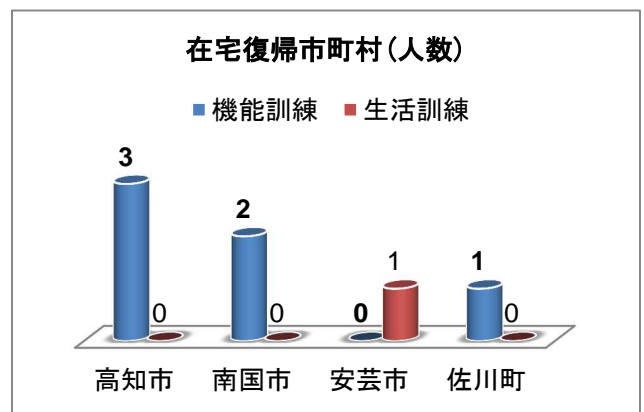
グラフ10

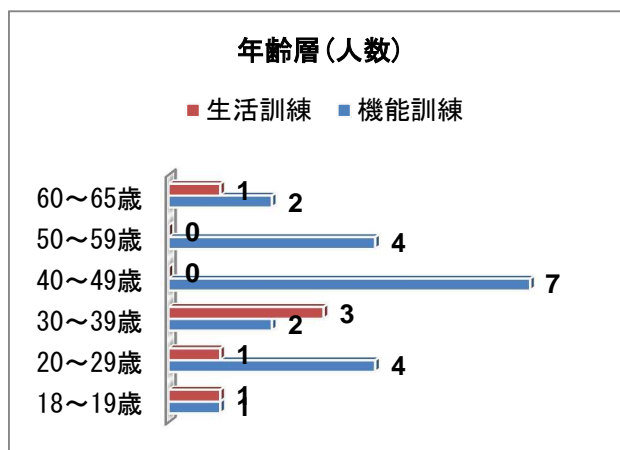
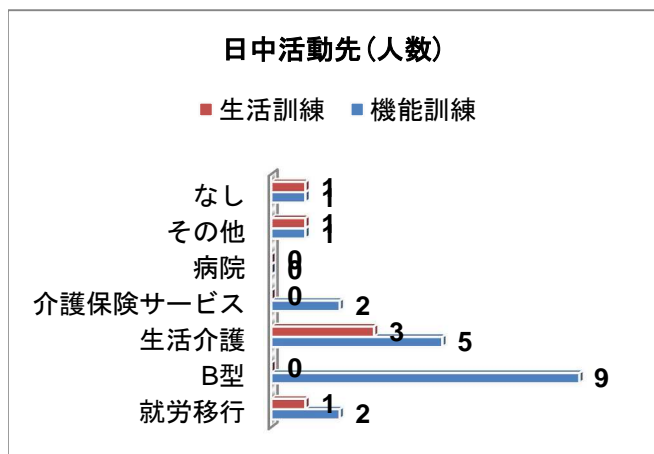


グラフ11



グラフ12





平成 27 年度の機能訓練終了者の転機先として 6 名が入院となっていました。平成 28 年度につきましては、入病する利用者はおらず、両事業で 20 名が在宅もしくはグループホームへと地域移行ができています。グラフ 12 に示しますように、生活訓練 1 名、機能訓練 6 名が各市町村での在宅生活を復帰しました。また、介護保険 2 号被保険者がいたにも関わらず、終了後の活動先としては介護保険サービス利用の方はわずか 2 名であり、障害福祉サービスでの活動につながりました。

2. 訓練実施状況

(1) 施設内訓練

表 3

科目	訓練内容
P T	<p>最大限の機能能力 Up を図り、また、動作方法の検討や指導、車いす・補装具などの利用、環境調整を行い、自身の残存能力を最大限に発揮できるスキルを獲得。退所後の生活に向け、能力の維持向上、体調管理などの自己メンテナンスが行えることを目的とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩行、階段昇降訓練</li> <li>・ 筋力強化訓練</li> <li>・ バランス訓練</li> <li>・ 応用動作訓練</li> <li>・ 関節可動域訓練、ストレッチ</li> <li>・ 物理療法</li> <li>・ 自主トレ指導、課題指導</li> <li>・ 機能能力評価、動作チェック</li> <li>・ ADL 評価、環境調整</li> <li>・ 車いす管理</li> <li>・ 装具・車いす相談</li> </ul>
O T	<p>将来的な生活を見据えた日常生活動作の自立、作業遂行技能の向上を目的に動作訓練や課題の提示、代償手段の提供などを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常生活動作訓練</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家事動作訓練</li> <li>・和室内動作訓練</li> <li>・自助具作製</li> <li>・手指巧緻性訓練</li> <li>・高次脳機能障害評価、訓練</li> <li>・復職向けの作業活動</li> <li>・自動車運転に関する相談、適性検査への同行、免許センターとの連絡</li> </ul>
パソコン	<p>パソコンの基本操作から就労に向けてのビジネスソフト操作、また趣味や余暇等生活場面での使用を目的としたパソコン技術の獲得を目指した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本操作：電源入切からマウス操作、入力練習を実施</li> <li>・ビジネスソフト：Word・Excel・インターネット操作の習得</li> <li>・高次脳機能障害に対する訓練ツール</li> <li>・その他：希望に応じて資格取得や応用ソフトでの練習を実施</li> </ul>
趣味・健康	<p>生活習慣病の予防や身体組成の改善、呼吸循環機能をはじめとする身体諸機能の維持向上のため行う。個人の目標を作り、取り組みの中で利用者自身の健康意識を高め、生活機能の低下防止、維持増進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツセンタージム利用</li> <li>・レクリエーションスポーツ</li> <li>・エクササイズ(ジムニックボール、ストレッチボール等使用)</li> <li>・体力測定</li> <li>・屋外散歩</li> <li>・Wii</li> <li>・園芸(プランター栽培、収穫後の調理)</li> </ul>
コミュニケーション	<p>構音障害や失語症のある利用者に対して、テキスト形式やグループ活動を通して、コミュニケーションスキルの向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テキスト課題</li> <li>・書字</li> <li>・計算</li> <li>・意思伝達代償手段訓練</li> <li>・聞き取りと記載</li> <li>・ジェスチャーでの表現</li> <li>・発声練習、音読</li> </ul>
体力トレーニング	<p>障害者スポーツセンター職員より指導を受け、スポーツを通して、体力や活動性の向上を図る。趣味活動を提供する機会。高次脳機能障害に対する身体活動を通じた課題提供の機会。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレッチ(ジムニックボール等)</li> <li>・障害者スポーツ(ボッチャ・ペタンク・バドミントン・ビームライフル・バランスボールサッカー・フライングディスク等)</li> </ul>
グループ訓練	<p>各利用者を目的別にグループに分け、そのグループでの訓練を通して、それぞれの目標達成へ向け施設内外での訓練を実施。 グループ分け</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅グループ(注意・遂行機能障害利用者が中心)</li> <li>・一般グループ(機能訓練若年者、社会経験に乏しい利用者が中心)</li> <li>・生活訓練グループ(生活訓練利用者が中心、社会活動・参加に向けて)</li> <li>・趣味グループ(2グループ、余暇的活動・外出機会)</li> </ul>
--	---

(2)施設外訓練

ア.個別

表 4

行き先	訓練目的
免許センター	運転適性検査による評価
施設周辺(瀬戸・長浜)	自転車や歩行での施設周辺移動の自立
病院	通院の自立
自宅	自宅周辺での移動の自立
エーマックス	買物の自立
金融機関	銀行利用の自立、ATM操作の自立
タウンモビリティ利用	ボランティアの利用方法を知る
公共交通機関	バス、電車等の利用自立
施設・他事業所	方向性の決定

イ.集団

表 5

	行き先
高知市	イオン高知店・旭町店、前川種苗、コーナン瀬戸店 高知城、高知駅～後免駅、高知市総合安心センター 木曜市
土佐市	ダイソー高岡店
春野町	春野郷土資料館、JA 春野、春野町図書館、種間寺 六條八幡宮

ウ.ブレースクリニック・家庭訪問等件数

表 6

	ブレースクリニック	家庭訪問
件数	2	12

エ.その他(文化、芸術、スポーツ活動など)

表 7

行事名	開催日時	参加者数
遠足(サーカス)・昼食	4月12日、4月14日	33
障害者スポーツ大会	5月29日、9月25日	19
障害者技能競技大会	7月2日	2
頭脳スポーツ大会	7月24日	5
スピリットアート展	10月7～16日	9
龍馬交流ポッチャ大会	10月9日	8
春野町文化祭	11月4～6日	9
りんご贈呈式	1月30日	5

卓球大会	2月11日	6
ポッチャ大会	3月5日	4

(3)実習生

表8

性別・学年	学校名・期間	備考
女子・1年生	若草養護学校 10月6日	病欠
女子・1年生	若草養護学校 10月7日	
女子・1年生	若草養護学校 10月3～5日	

平成 28 年度 障害者支援施設高知ハビリテーリングセンター  
生活介護事業報告

1. 利用者状況

(1) 延べ利用者数合計の推移(22-28 年度)

グラフ 1

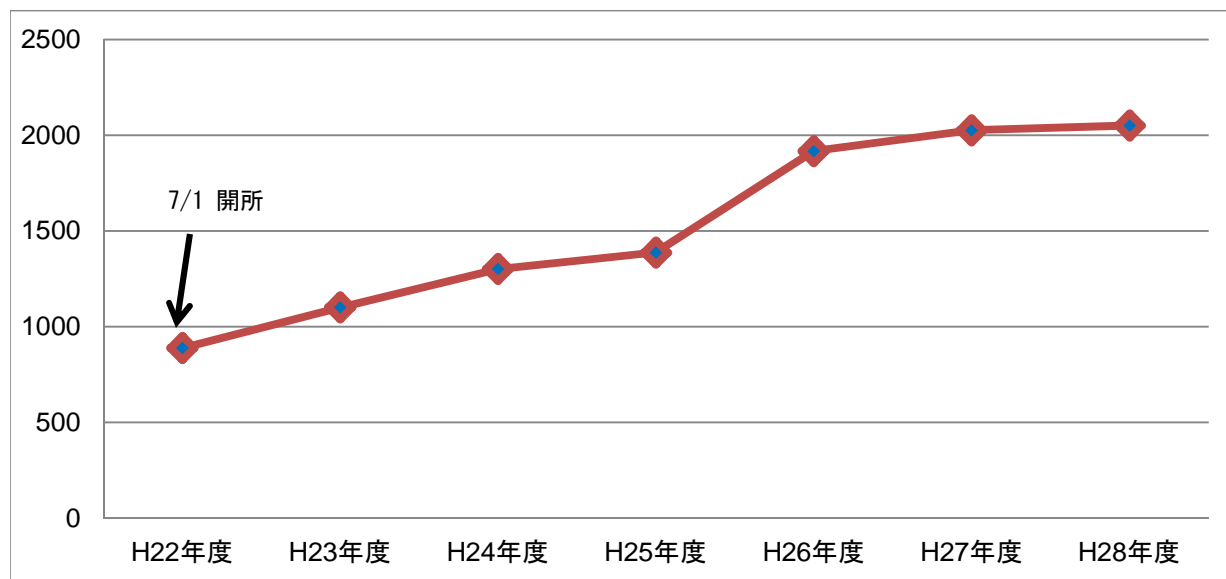


表 1

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
H22年度				116	123	120	117	96	87	65	76	88	888	98.666
H23年度	60	57	66	60	67	55	120	125	120	114	126	131	1,101	91.75
H24年度	146	151	130	135	137	115	116	101	86	72	48	64	1,301	108.416
H25年度	84	94	105	126	116	96	102	94	124	142	137	167	1,387	115.583
H26年度	149	149	139	169	173	162	178	154	168	146	156	174	1,917	159.75
H27年度	169	158	173	174	172	164	187	181	156	145	167	180	2,026	168.833
H28年度	154	145	155	159	179	176	154	186	186	184	185	187	2,050	170.833

(2) 新規利用者 4 名の紹介元

表 2

利用前事業	人数
機能訓練	1
生活訓練	3
合計	4

(3) 新規利用者 4 名の年齢層と目的

表 3

年齢	人数	利用目的
60～65 歳	1	次施設待機
50～59 歳	1	在宅調整
40～49 歳		
30～39 歳	1	次事業利用開始準備
20～29 歳		
18～19 歳	1	次施設待機
合計	4	

## (4)利用終了者4名の転機先(活動)

表4

退所先	人数	終了理由	利用期間
自宅	1	短期入所利用の終了	平成26年7月16日～平成29年2月17日
病院	1	極度なレベルダウン	平成26年1月1日～平成29年3月28日
障害者支援施設	1	入所受け入れ	平成27年8月1日～平成28年7月1日
B型	1	生活リズムも確立	平成28年7月1日～平成29年2月28日
合計	4		

当センターの生活介護事業は、当センターの自立訓練終了後の次施設への入所待機者もしくは在宅調整の間、B型利用者のレベルダウンにより転機先が決定するまでの間の利用として受け入れをしています。また、短期入所者で何らかの活動がやりたいもしくはあるとよいのではないかとこちらが判断する場合、短期入所中の利用をお勧めしています。

## 2. 活動内容

表5

科目	内容
整容	身なりを整えることを怠らない習慣をつけていく。(更衣、ひげそり等)
運動	体力維持や能力低下を防ぐために適度に身体を動かす。
体カトレーニング	スポーツセンター指導員によるトレーニングを行う。
学習	頭の体操や認知症予防のために座学として行う。
手芸	手指の動きが衰えないように楽しみも兼ねて行う。
ゲーム	視覚的刺激や敏捷性等も鍛えられ楽しみながら頭脳の活性化を図る。
ドライブ(散歩)	季節感を味わう場所への外出訓練を行う。
DVD鑑賞	楽しみの時間。
創作活動	季節感のあるモノを考え、利用者が協力して作成する。
生産活動	生産活動を行い、日常生活の充実を図る。

## 平成 28 年度 障害者支援施設 高知ハビリテーリングセンター 施設入所支援事業報告

### 1. 利用者状況

(1) 延べ利用者数合計の推移(22-28 年度)

グラフ 1

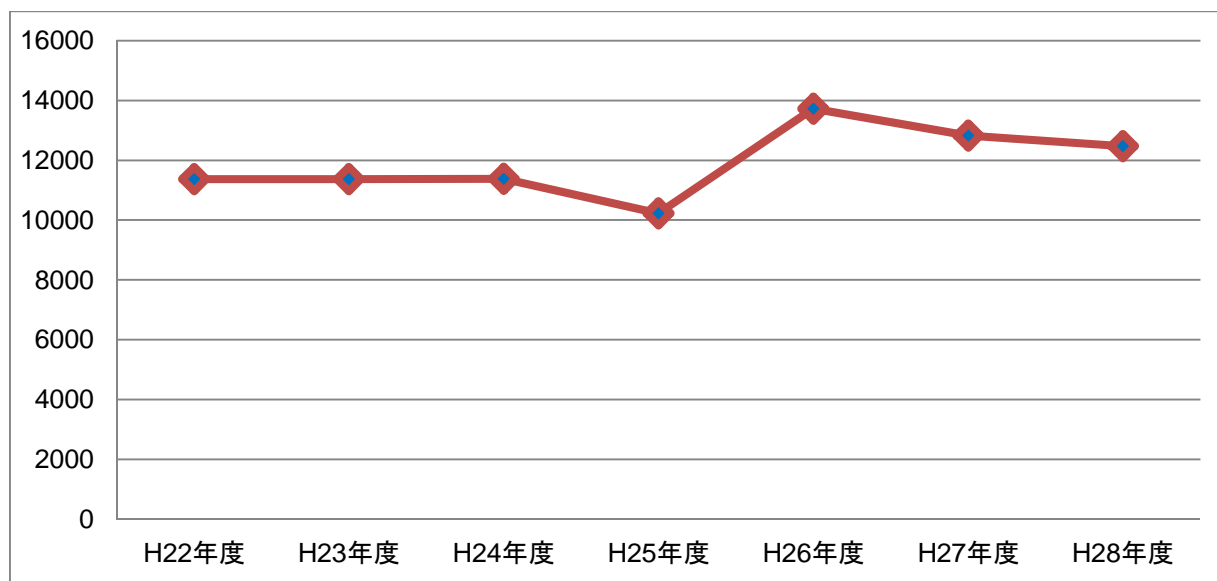


表 1

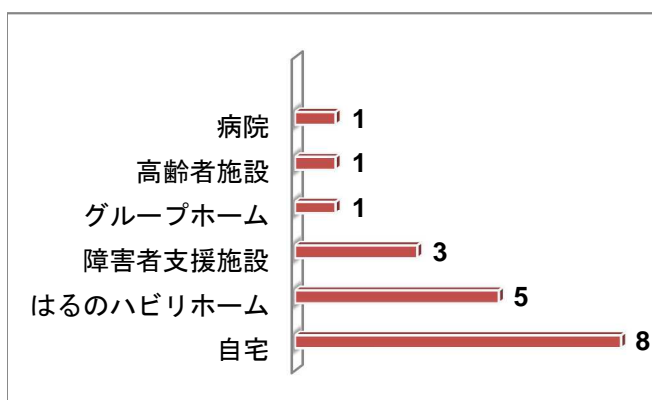
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
H22年度	956	933	954	913	960	998	1,086	988	925	863	853	940	11,369	947.416
H23年度	918	957	987	1,055	1,034	1,050	932	889	903	879	816	947	11,367	947.25
H24年度	951	1,107	1,051	1,054	1,128	1,056	1,019	961	854	770	676	757	11,384	948.666
H25年度	807	799	814	903	891	849	873	808	775	822	875	1,011	10,227	852.25
H26年度	1,101	1,175	1,158	1,187	1,185	1,146	1,178	1,112	1,167	1,125	1,059	1,133	13,726	1143.833
H27年度	1,161	1,180	1,176	1,176	1,122	1,120	1,044	958	1,003	1,003	906	978	12,827	1068.917
H28年度	986	949	977	994	1,035	1,054	1,086	1,037	1,036	1,057	1,090	1,171	12,472	1039.333

(2) 新規入所利用者 24 名の日中支援の内訳 表 2

事業名	人数
機能訓練	17
生活訓練	6
就労移行	0
B 型	1
生活介護	0
合計	24

(3) 退所者 19 名の転居先(生活の場) グラフ 2

グラフ 2



施設入所支援においては、何らかの日中支援をしている利用者が入所できます。したがって、日中支援の利用が終了となった場合は必然的に退所となります。入所から短期入所への利用変更が認められた場合は、短期入所利用者としての利用が可能です。



平成 28 年度 障害者支援施設 高知ハビリテーリングセンター  
短期入所支援(空床型・併設型)事業報告

1. 利用者状況

(1) 延べ利用者数合計の推移(22-28 年度)

グラフ 1

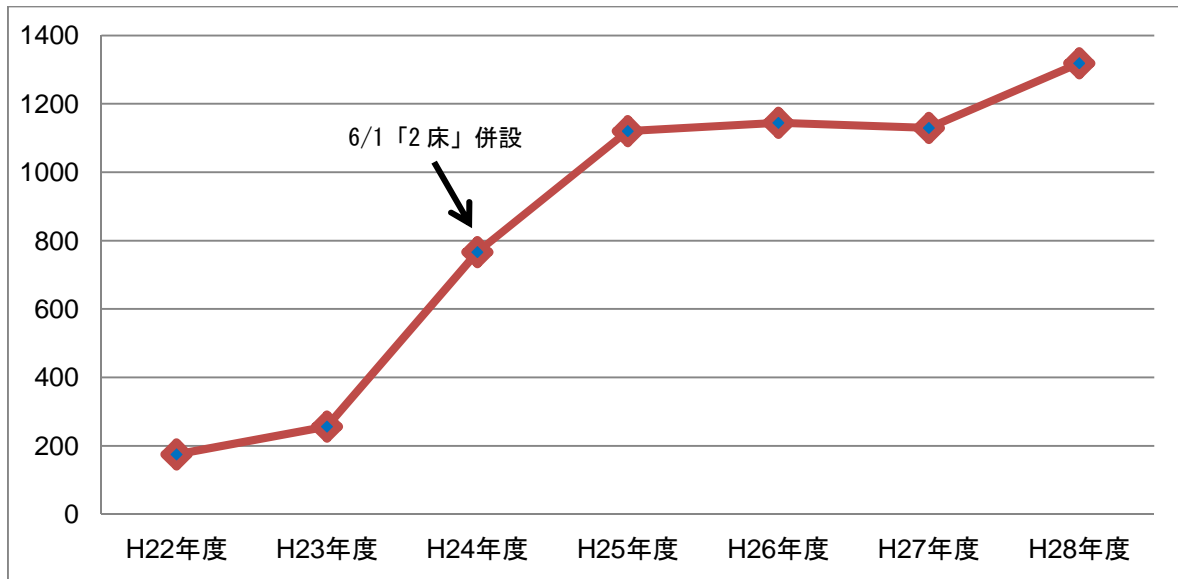


表 1

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
H22年度	9	16	9	36	10	15	26	9	11	10	11	13	175	14.5833
H23年度	17	9	9	11	17	11	20	24	19	26	42	51	256	21.333
H24年度	44	26	37	33	68	67	73	85	82	94	79	78	766	63.833
H25年度	110	84	104	88	127	93	81	79	67	85	71	131	1,120	93.333
H26年度	98	110	97	99	95	105	83	96	84	100	78	100	1,145	95.416
H27年度	84	75	73	82	95	73	84	118	91	82	121	152	1,130	94.166
H28年度	141	128	104	104	123	101	117	139	135	98	69	60	1,319	109.916

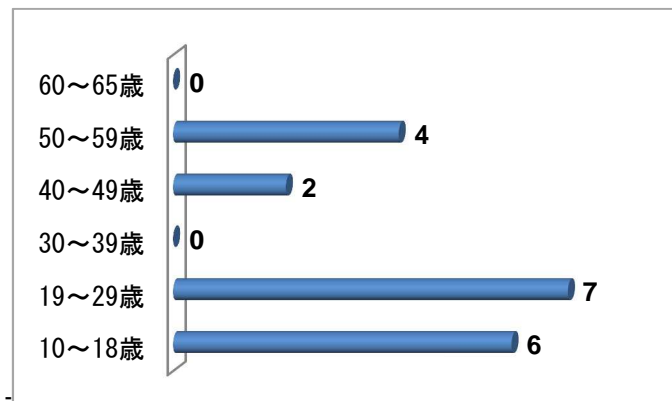
(2) 利用登録児者数の推移

表 2

年度	登録児者数
平成 22 年度	8
平成 23 年度	13
平成 24 年度	21
平成 25 年度	20
平成 26 年度	18
平成 27 年度	20
平成 28 年度	19
合計	118

(3) 新規登録児者 19 名の年齢層(人数)

グラフ 2



※1名利用登録終了

年々、障害児の利用希望が増加しています。6名の新規登録児の障害種別は、脳性麻痺1名、脳梗塞1名、4名は知的障害と自閉症の重複です。最年少が14歳となっています。

平成 28 年度 高知ハビリテーリングセンター就労支援事業所  
就労移行支援事業報告

1. 利用者状況

(1) 延べ利用者数合計の推移(22-28 年度)

グラフ 1

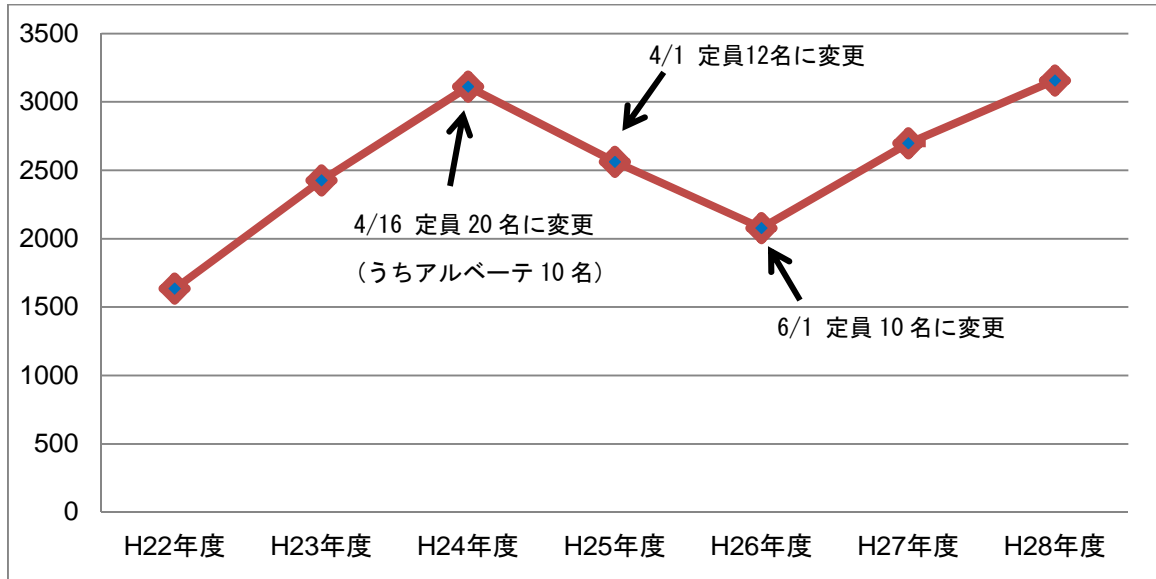


表 1

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
H22年度	80	91	130	126	124	115	138	156	160	155	162	197	1,634	136.166
H23年度	176	146	218	209	220	191	224	225	208	187	197	225	2,426	202.166
H24年度	275	321	271	257	261	214	265	262	259	231	232	263	3,111	259.25
H25年度	239	240	227	245	223	207	221	189	185	181	180	226	2,563	213.583
H26年度	130	125	218	193	136	164	192	170	201	179	150	220	2,078	173.166
H27年度	200	177	223	223	202	227	214	235	216	263	253	264	2,697	224.75
H28年度	237	239	282	289	286	269	259	266	247	256	251	276	3,157	263.083

(2) 新規利用者 10 名の概要 (就労アセスメント利用者は除く)

1. 転機元

表 2

特別支援学校	1	
ハビリ	B 型	3
	自立訓練	2
企業		
自宅	4	
計	10	

2. 障害種別

表 3

身体障害	4
知的障害	
精神障害(高次脳含む)	3
広汎性発達障害	3
計	10

3. 年齢別

表 4

10代	1
20代	5
30代	2
40代	1
50代	1
60代	
計	10

4. 利用形態別

表 5

通所	自宅	9
	ハビリホーム	1
入所(ハビリ)		
計		10

平成 28 年度の新規利用者 10 名のうち、広汎性発達障害の方が 3 名利用開始となりました。これまでの利用者とは障害特性も違い、紹介元や新たな連携先ができて幅も広がりましたが、同時に職員のスキルや力量が求められてきました。また、身体や精神に障害がある場合は外来通院と併用している為、医療機関との連携を欠くことができません。

重度の利用者が多い、障害が多岐にわたる現状から、利用者一人ひとりの能力や心身機能の把握、業務適性(マッチング)の視点強化等、職員自身が課題を持ちながらスキルを高めつつ日々の支援に臨んでいます。

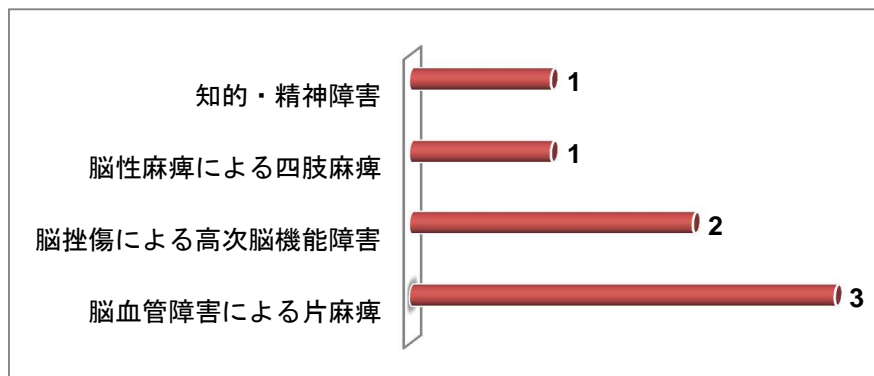
(3) 終了者 7 名の就職(活動)先等

表 6

年齢・性別	就職先	職 種	利用期間	終了日
50歳・女性	土佐御苑	事務補助	11ヶ月	平成28年 8月10日
48歳・男性	ビーネット(A型事業所)	事務補助	2年	8月31日
22歳・男性	高知ハビリテーリングセンター(B型)	クリーニング	1年6ヶ月	9月25日
50歳・男性	とさでん交通	車内清掃	11ヶ月	9月27日
45歳・男性	うららか保育園	用度	1年10ヶ月	9月30日
49歳・女性	特別養護老人ホーム海の里	ランドリー	11ヶ月	12月25日
22歳・女性	虹の夢(A型)	事務補助	2年2ヶ月	12月28日

(4) 終了者 7 名の障害種別(人数)

グラフ 2



当センターの就労移行には、車椅子利用者や高次脳機能障害のある利用者が多く、職場探しに困難を要しますが、障害者雇用継続支援センターこうちやハローワーク等のご協力をいただき平成 28 年度は 6 名の利用者が就職することができました。

(5) 就労アセスメント

表 7

年齢・性別	所 属	実施期間	就労・活動先
18歳・男性	機能訓練	平成28年 3月22日～平成28年 4月22日	就労移行
18歳・女性	生活訓練	平成28年 7月 4日～平成28年 7月15日	生活介護
21歳・男性	生活訓練	平成28年10月 3日～平成28年10月24日	生活訓練利用中
18歳・男性	山田養護学校	平成28年10月17日～平成28年11月 1日	ハビリ B 型

24歳・女性	機能訓練	平成28年10月31日～平成28年11月25日	ハビリ B 型
24歳・男性	心療センターデイケア	平成28年11月 8日～平成28年12月17日	ウェーブ B 型
28歳・男性		平成29年 1月13日～平成29年 2月 3日	ハビリ B 型

行政の取組みとして、就労経験のない方への就労促進が始まり、今後は高校在生のみではなく成人の方へのアセスメントが増えることが予測されます。

(6) 職場定着

表 8

年齢・性別	就職先	職 種	就労期間
70 歳・男性	近森病院	用度	6年10ヶ月
61 歳・男性	近森病院	画像データ処理	5年
23 歳・男性	サンシャイン	商品陳列等	3年 7ヶ月
37 歳・男性	ゲオ四万十店	店内清掃、CD・DVD 返却業務	3年 3ヶ月
35 歳・女性	梶原町役場	事務	3年
47 歳・男性	高知中央郵便局	事務	2年 2ヶ月
56 歳・男性	オフィスコーポレーション	事務機メンテナンス	1年 9ヶ月
59 歳・女性	エームサービス	調理補助	1年 1ヶ月
26 歳・男性	いの町役場	事務	1年
38 歳・男性	高知西病院	事務	1年

2. 訓練内容

表 9

施設内訓練	
作業	耐久性や巧緻性、集中力を身に付け、向上させる事を目的に様々な作業や基礎的学力向上をめざした学習を実施。
座学	履歴書の書き方や電話対応、名刺の渡し方等、社会人として必要となるマナーを身に付けるとともに模擬面接を実施し、就職活動に必要な技能の習得を目指した。
パソコン	実務能力として必要不可欠な入力スピード・正確性の習得を中心に Word・Excel を使用した実務課題や MOS 検定合格に向けての模擬試験の実施。毎月の移行通信の作成を行った。
講演会	関係機関や就労に就いている障害者の方から就労についての講演をして頂いた。
施設内実習	四国管財様にご協力頂き、実習前訓練を実施。
施設外訓練	
職場実習	具体的な就労イメージを付けるとともに、適応職種・職場を見つける事を目的に実施。主な実習先:接客業、製造業、介護業、清掃業、調理補助等
外出訓練	職場見学やハローワーク訪問等、就職活動に繋がる外出を実施。
トライアル雇用	1 名

委託訓練事業	2名
--------	----

3. 職場実習状況

(1) 企業実習先開拓

表 10

	22年度		23年度		24年度
1	JA 春野	1	サンリバー四万十	1	アルベータ北本町
2	サニーマート	2	マルナカー一条店	2	(株)フォーティーエス
3	四国管財	3	ユニクロ四万十店	3	サンシャインベルティス
4	フタガミ	4	トヨタ四万十店	4	業務用スーパー一宮店
5	四国ライフケア虹の里	5	新ロイヤル四万十	5	(有)西村膳写堂
6	マルニ朝倉店	6	シュープラザ四万十店	6	ワープ園芸文化舎
7	せるぽ(A型)	7	フジ四万十店	7	よさこいねっと
8	青柳	8	グラツェミーレ	8	平成福祉専門学校
9	きらり(A型)	9	南国病院	9	キタムラ ビジネスソリューション
10	コーケン(A型)	10	細木病院	10	(有)池澤農機商会
11	まるなか土佐店	11	寿工務店	11	高南メディカル
12	かがみの			12	近森病院北館(医師食堂)
13	ダックス(特例子会社)				
14	ヤマサキ				
15	フジグラン				
16	イオン高知				
17	ワークスマらい(A型)				
18	サンプラザ				
19	キタムラ				
20	森光石油				
21	ユニクロ土佐道路				
22	近森病院				
	25年度		26年度		27年度
1	サンシャインベルティス	1	アルコデイトレセンター	1	株式会社 栄光工業
2	サンシャインクラージュ	2	ティンカーベル	2	高知県社会福祉協議会
3	サンプラザ 一宮店	3	エームサービス	3	高知土木事務所
4	よさこいネット	4	いずみの病院	4	オフィスコーポレーション
5	ワープ園芸文化舎	5	フードプラン	5	はるの若菜荘
6	フジグラン四万十			6	土佐御苑
7	ゲオ 四万十店			7	みかんの丘(A型)
8	池澤農機商会			8	高知西病院
9	豚太郎 瀬戸店				
10	虹の夢(A型)				
	28年度		29年度		30年度
1	特別養護老人ホーム海の里				
2	とさでん交通				
3	うららか保育園				
4	土佐市民病院				
5	枝川自動車				
6	大洋運輸				
7	びーねっと(A型)				
8	さくらさく(A型)				
9	サスケ工房(A型)				

(2)平成 28 年度の実習先 (順不同)

表 11

エームサービス	四国管財	維新工房きらり(A 型)
とさでん交通	うららか保育園	サスケ工房(A 型)
高知県社会福祉協議会	はるの若菜荘	みかんの丘(A 型)
大洋運輸	土佐御苑	さくらさく(A 型)
土佐市民病院	特別養護老人ホーム海の里	虹の夢(A 型)
枝川自動車	リットの風(B 型)	ぴーねっと(A 型)

(3)実習状況 (トライアル雇用、委託訓練事業を含む)

表 12

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実習回数	3	6	5	7	6	5	2	4	3	2	2	3
実習者数	2	4	5	6	6	5	2	4	3	2	2	3
実習企業数	3	6	5	6	6	5	2	4	3	2	2	3
実習延べ日数	25	52	67	82	64	47	35	42	36	20	22	37

平成 28 年度 高知ハビリテーリングセンター就労支援事業所  
就労継続支援 B 型事業報告(サテライト含む)

1. 利用者状況

(1) 延べ利用者数合計の推移(22-28 年度)

グラフ 1

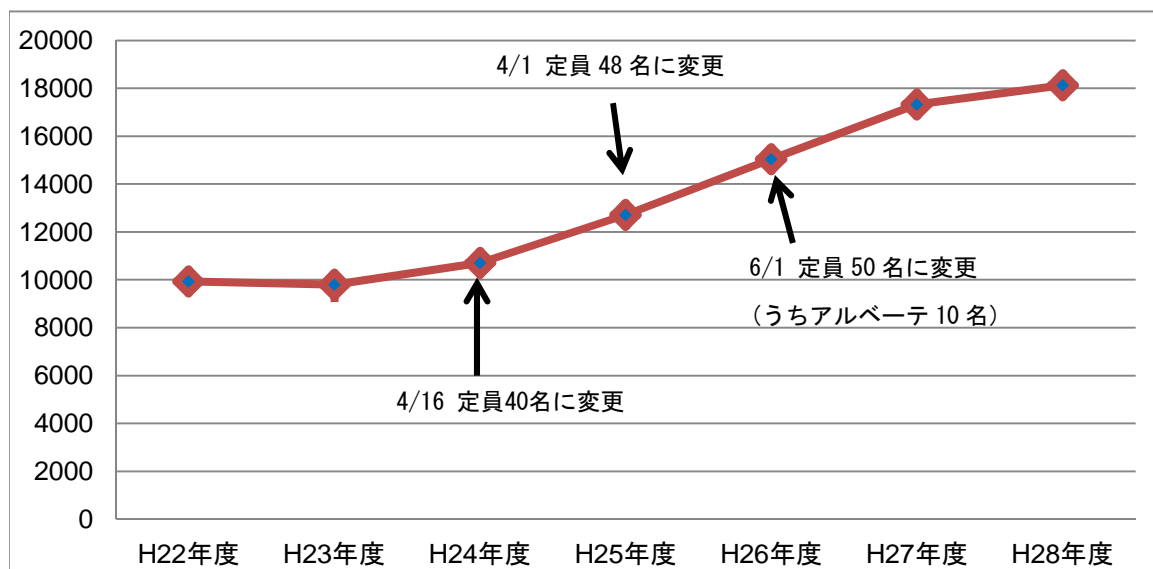
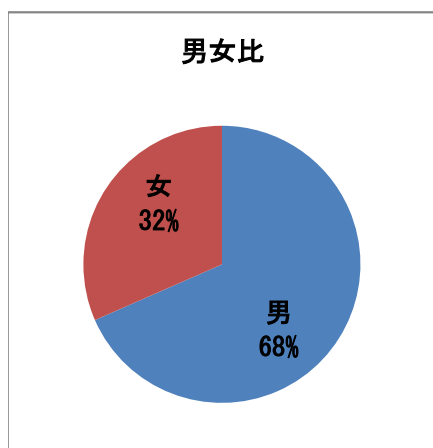


表 1

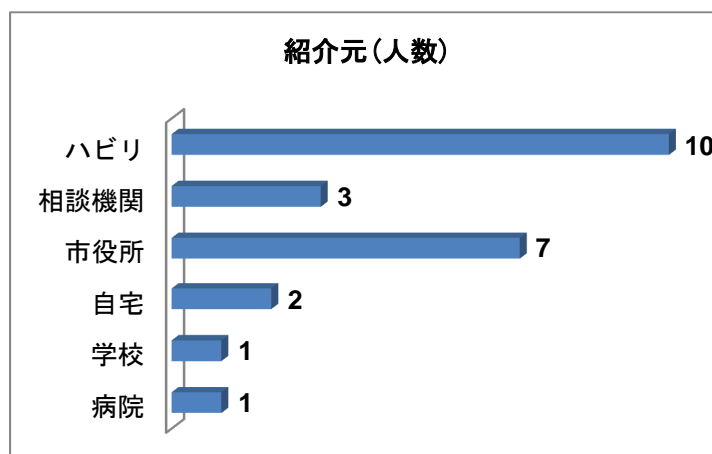
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
H22年度	853	773	926	876	859	823	804	813	784	781	784	852	9,928	827.333
H23年度	755	726	830	766	835	769	796	858	814	827	901	917	9,794	816.166
H24年度	849	855	917	914	941	840	995	927	849	841	879	904	10,711	892.583
H25年度	1,036	1,047	1,030	1,089	1,049	934	1,134	1,121	1,086	1,019	1,041	1,128	12,714	1059.5
H26年度	1,201	1,183	1,220	1,288	1,253	1,241	1,280	1,150	1,343	1,205	1,243	1,438	15,045	1253.75
H27年度	1,461	1,302	1,470	1,511	1,392	1,370	1,487	1,396	1,514	1,399	1,437	1,589	17,328	1444
H28年度	1,502	1,450	1,538	1,532	1,565	1,468	1,502	1,497	1,552	1,411	1,460	1,647	18,124	1510.333

(2) 新規利用者 24 名の概要

グラフ 2

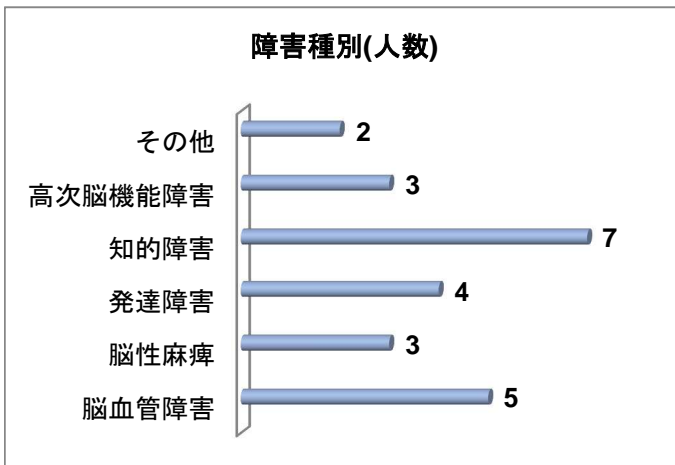


グラフ 3

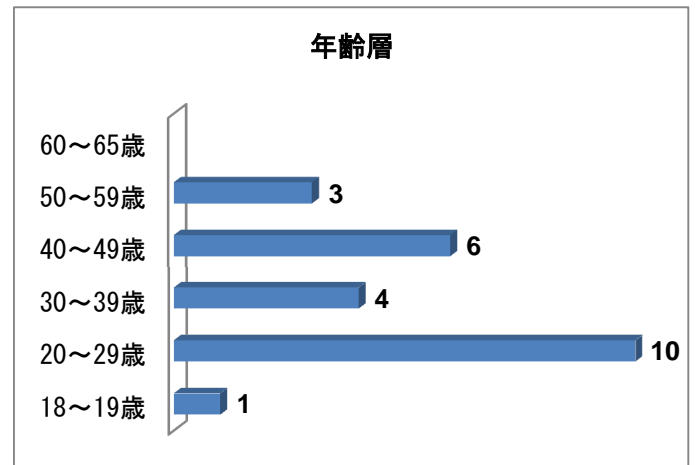


紹介元としては当センター事業からが最も多く、その内訳は機能訓練7名、生活訓練1名、生活介護1名、就労移行1名となりました。次に、福祉事務所の就労促進員からの紹介が多くなっています。これまでに離職されていた方たちである為、定着されることを期待して受け入れています。

グラフ4



グラフ5

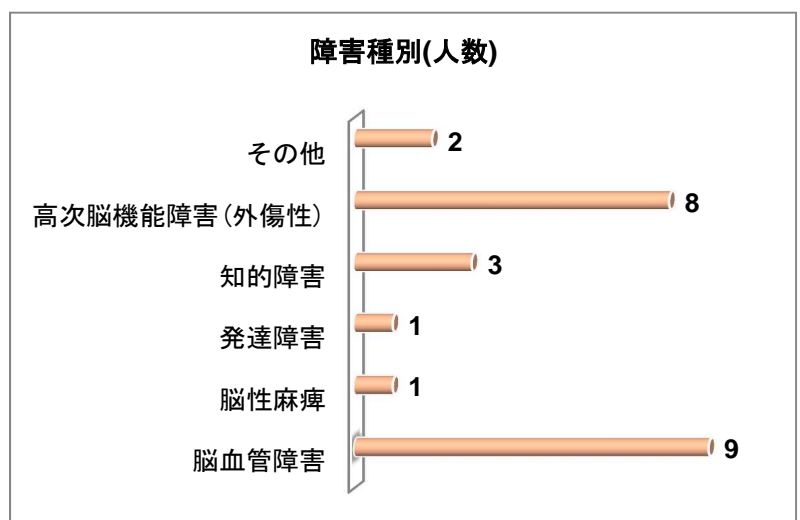
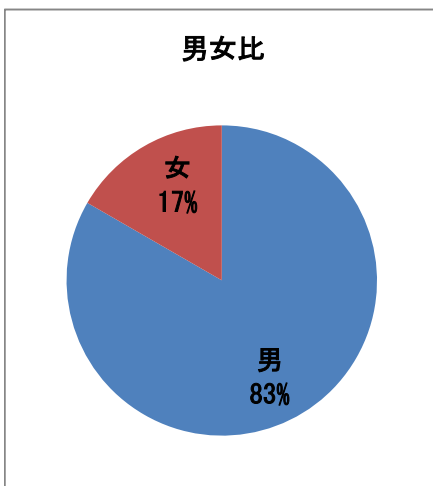


平成28年度は、身体障害者を主としてスタートしていた当センターB型の利用者層も変化してきました。知的障害、発達障害の利用者が増え、精神障害を重複し、精神科通院の身体障害者が4名、知的障害者が3名でした。障害特性に応じた支援が益々必要となってきた中で、センター内でサービス変更しB型に移行した利用者が10名いましたが、職員間の連携ができる強みがあります。

(3)利用終了者24名の概要

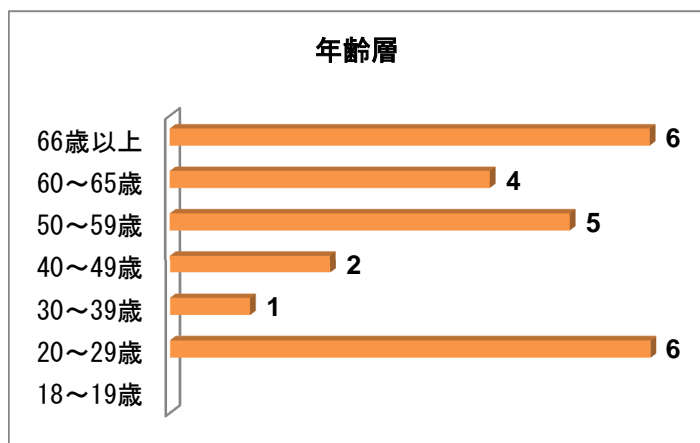
グラフ7

グラフ6

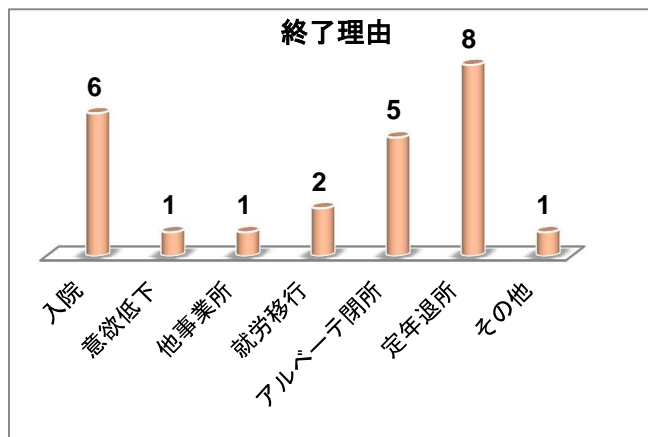




グラフ8



グラフ9



平成28年度一年間を移行期間としてきた65歳以上の利用者8名、B型サテライトの「アルバーテ北本町」閉所に伴う13名の終了、再発や怪我による入院での終了者数が6名となり、平成27年度より2倍多い終了者数となりました。

2. 実習生

表2

性別・学年	学校名・期間	備考
女子・高校1年	若草養護学校 6月3～24日	
女子・高校1年	若草養護学校 10月3日	
女子・高校1年	若草養護学校 10月3日	
男子・高校3年	日高村養護学校 10月11～14日	
男子・高校1年	日高村養護学校みかづき分校 10月17～28日	
男子・高校3年	山田養護学校 10月18～28日	
男子・高校1年	高知市立特別支援学校 10月31～11月11日	
女子・高校1年	高知市立特別支援学校 10月31～11月11日	
男子・高校2年	高知県立聾学校 12月7～13日	

3. 生産活動

表3

作業科目	作業内容
印刷科	封筒印刷、名刺、広報誌、ハガキ、処方箋等の印刷仕上げまでの作業工程の中で ①制作部…入力、データ作業、画像補正、校正 ②仕上げ…紙折り、検品
クリーニング科	病院スタッフユニフォーム洗濯、シーツ類洗濯、高知ハビリテリングセンタースタッフユニフォーム、利用者私物洗濯、シーツ交換
軽作業科	脂取り紙の加工作業、DM袋入れ作業、封筒三つ折り作業 箱製作(手織り)、テッシュ詰め、耳つぼジュエリー
農芸科	畑作業(土作り、草引き、種まき、野菜の洗い、出荷準備、配達) ナス詰め込み作業

パン工房科	パンの製造、販売
アルベータ北本町	洗車、軽作業（防災毛布、碁石茶、餌木製作）

4. 取引先リスト（個人取引除く）

表 4

科 名	業 者 名
印刷科	・永井病院・日本珊瑚協会・聖園ベビーホーム・高知県（障害保健福祉課） ・はるの森澤クリニック・青い空・ティー・エス・エー企画 ・あじさい園・聖園天使園・木内工芸・(有)タカハシ ・はるの若菜荘・前川珊瑚工房・高知県珊瑚協会・ヘルパーステーションえのくち ・高知高齢、障害者雇用支援センター・社会医療法人近森会 ・高知職業訓練支援センター・日高村役場・高知労働局
クリーニング科	・社会医療法人近森会・ハビリ・はるのハビリホーム・高知高齢・障害者雇用支援センター ・高知県立盲学校・日本政策金融公庫
軽作業科 （本館） （箱製作）	・富士紙化学（株）・（株）エヌ・シー・ビー・こうち生活協同組合 ・和光製紙（株）・こだかさ更生センター・桂・福辰・吉永 ・高知大丸・（株）満天の星・池一菜果園・（株）浜幸・（有）クラフトハート
農芸科	・エームサービス(株)・近森産業・社会医療法人近森会 ・はるの若菜荘・（有）五藤青果
パン工房科	・永井病院・社会医療法人近森会・ウェーブ・ハビリ ・エームサービス(株)・すこやか(株)
アルベータ北本町	・社会医療法人近森会・ハビリ・大豊町(碁石茶協同組合) ・（株）フロムハート・（有）泉利昆布海産

印刷科

高品質な商品の製作が評価をいただき、新規取引先がコンスタントに増えて売り上げ増に繋がりました。取り扱い品目、作業も増やすことができ利用者への作業提供に繋がったと考えています。ただ、印刷科の利用者の中でパソコン訓練的な活動だけとなっていた利用者もいた為、封入作業やティッシュ袋詰めといった軽作業の提供を行うことで生産活動へ参加していただきました。利用者もパソコンを使った仕事をしたいとの思いもある中、実際スーパーで売られている商品の生産に携わることで作業意欲の向上も見られました。

クリーニング科

近森病院のスタッフユニフォームを中心に安定的な作業確保が行えています。利用者も増えていきますので、作業量を近隣の医療機関や施設に営業活動を行い確保していく必要があると思いますので、平成 29 年度の課題として取り組んでいきたいと考えます。

軽作業本館・別館

本館では、新しい作業を確保するより、現行のティッシュの袋詰め、DM 封入作業、脂取り紙、耳つぼジュエリー作成、菓子スプーンの袋詰めの作業を定期的に確保して、利用者の作業が途切れることなく提供で

きたと思います。利用者も同じ作業を繰り返すことで1つの作業に自信を深めていき、やりがいに繋がったと思います。ただ、単価が安く作業収入が少ないのが課題である為、全体的により正確性を向上し単価交渉を行えるようになりたいと考えています。

別館では、1年を通してお菓子の箱折り作業を途切れることなく作業確保できました。利用期間の長い利用者の退所が相次ぎ、入院等体調を崩される利用者も出た為、利用者間の連携やチームワークがより強くなったと思います。一人ひとりが責任を持ち納期を意識した作業が取引先の信頼向上にも繋がったと思います。

#### パン工房科

支援員が変わり利用者間に一時惑いも見られましたが、パン製造の経験者が入職したことで、パンの品質が格段に向上しました。また、高知県障害保健福祉課から講師を派遣していただき、利用者にも参加して衛生面の講習を2日間行いました。食品を扱う科ですので、品質以外にも衛生面の取り組みを行えたことは良かったと思います。

#### 農芸科

1年を通じて、たまねぎ、ジャガイモ、さつまいもを中心に農作物を生産いたしました。また、11月～6月まではナスの詰め込み作業の受注をいただき、農芸科所属の利用者以外の利用者にも協力していただき作業を行いました。毎日納品があるため、利用者間にも責任感が出て作業意欲も向上してきたように感じました。

#### アルバーテ

作業内容は駐車場の管理・駐車場周辺の掃除・花壇整備・洗車業務と軽作業で、掃除・花壇整備は随時行い、洗車においても、近森病院の職員や社用車の仕事を頂き作業収入に繋がりました。軽作業は、碁石茶・防災不織布毛布・餌木（イカ釣り専用ルアー）の3種類を作業としていましたが、餌木関係の作業収入が低いとともに安定して受注できないため餌木関連作業は終了とし、新たに営業に取り組み新たに乾燥昆布の袋詰め作業を獲得しました。平成28年度をもってアルバーテは廃止となりますが、春野へ移行し作業を続ける利用者も多く、軽作業は衛生面に注意を払いながら全ての作業を春野でも引き続き利用者に行っていただく予定です。

## 5. 作業工賃

平成28年度の工賃総支給額

表5

月	利用者数	総支給額
4月	90名	1,321,540
5月	89名	1,269,660
6月	88名	1,349,980
7月	89名	1,317,980
8月	87名	1,312,580
9月	88名	1,248,980
10月	89名	1,293,420

11月	91名	1,283,140
12月	90名	2,711,860
1月	89名	1,158,340
2月	92名	1,194,240
3月	94名	1,341,720
総数	1076名	16,803,440

平均工賃額 15,616円

6. 平成28年度収支実績

表6

平成28年度実績			
支出		収入	
延利用者数	18,128名 (昨年度比803名増)	作業収入	45,312,529円 (昨年度比1,261,821円増)
支払い対象者数	1,097名 (昨年度比71名増)		
延利用時間	97,015時間 (昨年度比3,319時間増)		
工賃総額	16,893,820円 (昨年度比1,824,940円増)		
平均工賃月額	15,400円 (昨年度比182円減)		

# 平成 28 年度 はるのハビリホーム 共同生活援助 (GH) 事業報告

## 1. 利用者状況

### (1) 延べ利用者数合計の推移 (22-28 年度)

グラフ 1

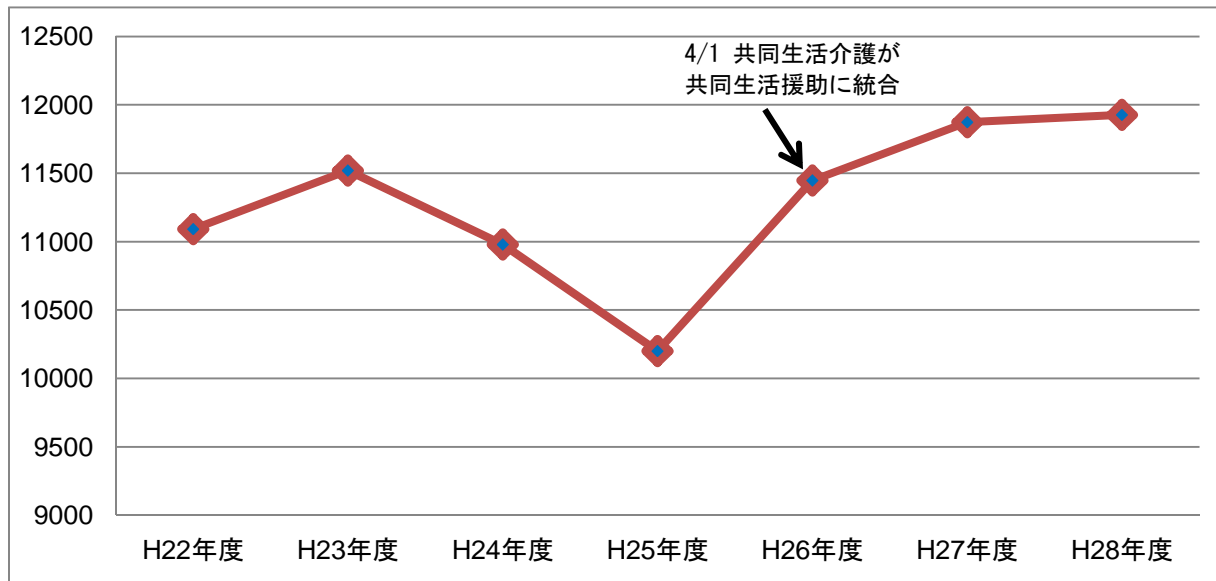


表 1

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
H22年度	903	918	918	918	916	891	916	900	947	955	906	1,004	11,092	924.333
H23年度	958	918	950	971	964	939	950	982	977	964	949	997	11,519	959.916
H24年度	951	931	905	947	956	913	963	932	951	899	809	822	10,979	914.916
H25年度	803	815	809	851	857	841	919	870	881	863	808	883	10,200	850
H26年度	868	926	978	1,005	964	931	960	908	965	967	941	1,034	11,447	953.916
H27年度	1,009	987	1,017	1,060	1,001	950	982	921	967	971	980	1,028	11,873	989.416
H28年度	977	973	966	1,045	970	949	982	1,016	1,040	1,027	945	1,038	11,928	994

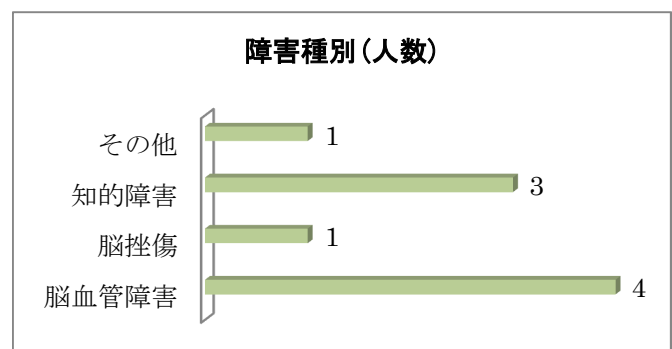
### (2) 利用者概要

#### ① 新規入居利用者 9 名の入居前居所 表 2

事業名	人数
ハビリ本館	6
自宅	2
他事業所	1
合計	9

#### ② 9 名の障害種別 表 2

グラフ 2



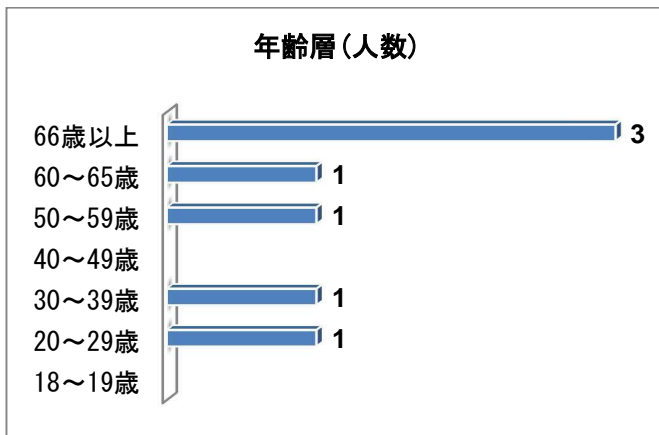
③退居者7名の転居先

表3

復帰先	人数
病院	2
高齢者賃貸住宅	3
障害者支援施設	0
ハビリ本館	1
県外	1
合計	7

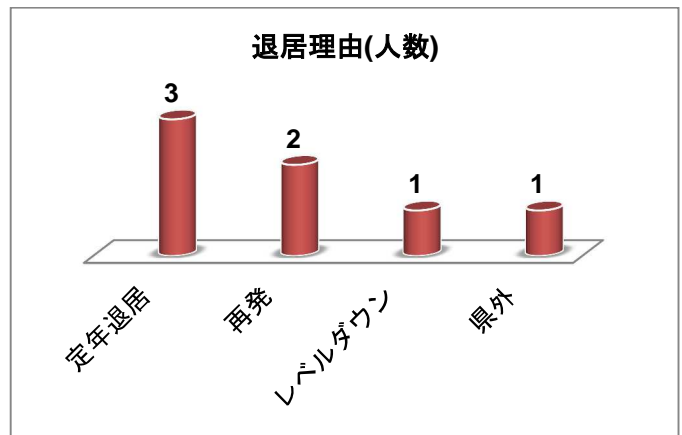
④退居者7名の年齢層

グラフ3



⑤退居理由

グラフ4



平成 28 年度 高知ハビリテーリングセンター放課後等デイサービス  
「キュール」 事業報告

1. 利用児状況

(1) 延べ利用児数合計の推移(25-28 年度)

グラフ 1

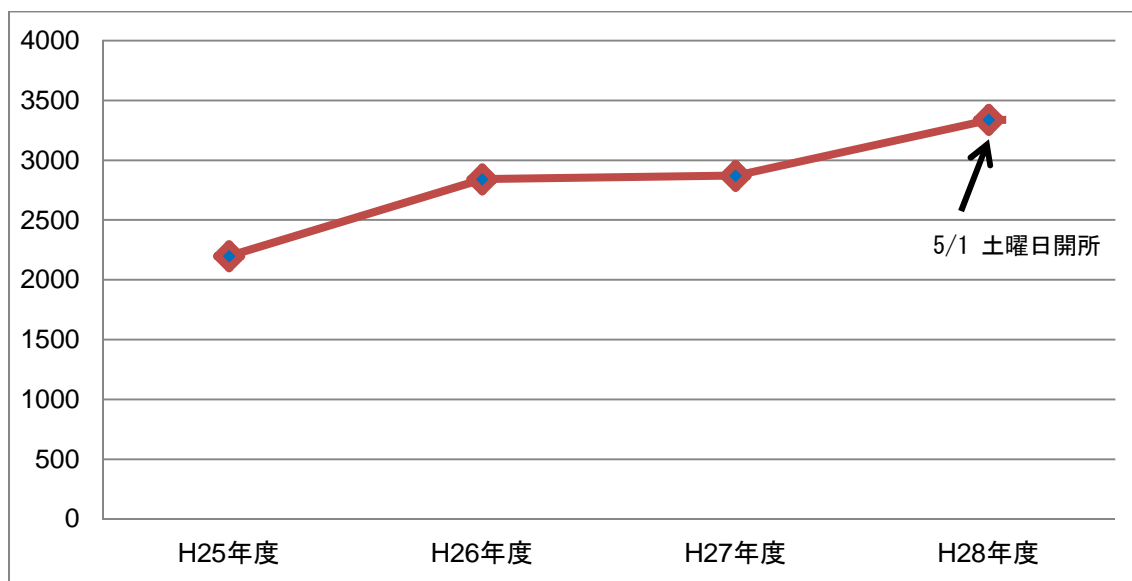


表 1

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
H25年度	69	104	129	220	295	173	190	185	227	202	185	219	2,198	183.166
H26年度	244	244	230	254	238	240	244	213	266	214	209	244	2,840	236.666
H27年度	230	189	219	250	275	224	238	227	281	248	244	245	2,870	239.166
H28年度	240	266	268	294	343	264	283	281	301	258	242	297	3,337	278.083

(2) 利用児概要

①新規利用児数 表 2

男	10
女	5
合計	15

②終了利用児数 表 3

男	2
女	2
合計	4

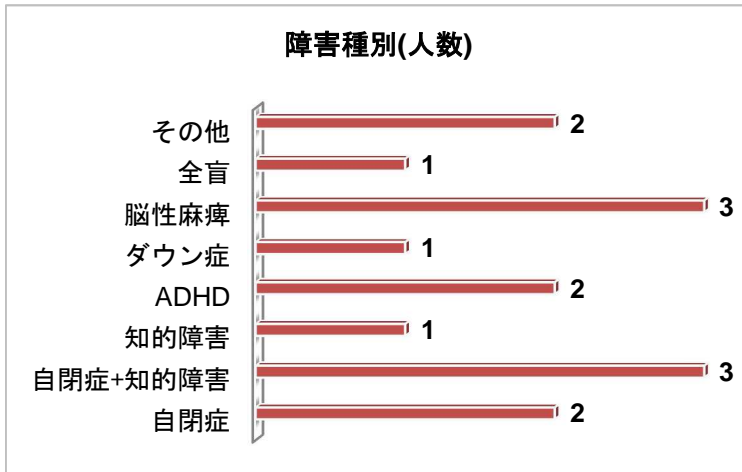
③総登録者数 表 4

男	54
女	33
合計	87

職員体制と受け入れ利用児との調整をした上で、全盲の障害児は初めての受け入れが可能でした。利用児の障害特性によっては同日利用が困難な場合もある為、その調整やキャンセル待ち利用児の調整等が必要となります。利用終了になった4名は、高校卒業によるものです。そのうち、2名は当センターの何らかのサービス利用をしています。

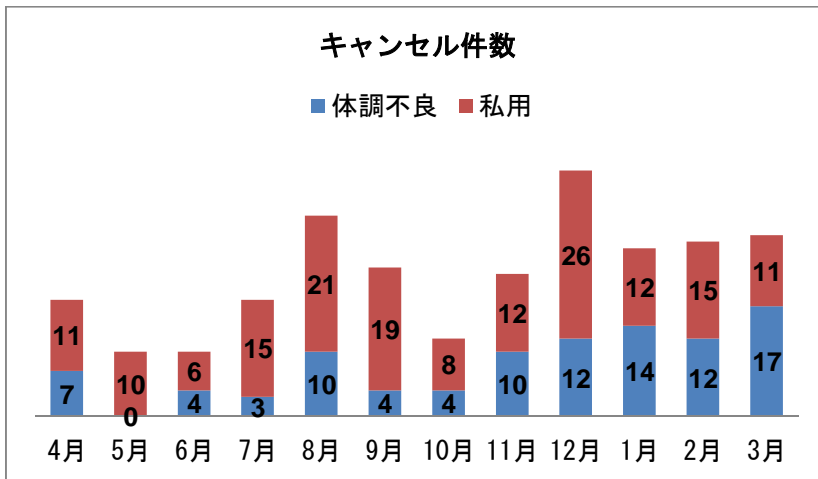
④新規利用児 15 名の障害種別

グラフ 2



⑤キャンセル件数

グラフ 3



他事業所との併用利用をされている利用児はいますが、キュールのみ  
の利用児は 19 名(男子 11 名・女子 8 名)です。また、利用キャンセルにつ  
いては、体調不良の他、ご家族や学  
校行事等の都合によるものが多くあ  
ります。

これまでの 4 年間を継続利用して  
くれている児童もおり、心身ともの成  
長に喜びをいただいています。

2. 支援プログラム

表 5

	プログラム(遊び)	内容
1	室内遊び	積み木、プラレール、ゲーム(Wii)、テレビ鑑賞、音楽遊び 絵本(読み聞かせ)、わらべうた遊び 音楽療法(2回/月)——講師委託
2	室内レク	風船バレー、背中文字当て遊び、トランプ、バランスボール 室内ドッジボール
3	野外活動	散歩、サッカー、長縄遊び、マラソン、リレー遊び、野球 ドッジボール、キャッチボール、鬼ごっこ、相撲、かくれんぼ
4	学習支援	宿題、課題プリント、知育玩具
5	スポーツセンター	トランポリン、ロッククライミング、運動会、プール、自転車
6	長期休暇のイベント	別紙 1 参照



### 3. 土曜日開所

27年度の茶話会やアンケート調査を実施し、28年度5月より土曜日開所を始めました。利用児は1日4名～8名と平日より少人数でのスタートではありましたが、支援時間が終日と十分にとれる事もあり、障害者スポーツセンターでの運動や野外活動、バスを使用しようとした施設外活動や見学を取り入れることができました。平成29年度は、新一年生の利用が増える見込みであり土曜日の利用児数も増加する予定です。

### 4. キュール別館の移設

キュール本館隣の旧木工作業場に、はるのハビリホーム1階から移設しました。この別館は、靴を脱いで過ごせる環境とし、宿題や課題をする半個室状の3室を構え、また、ソファとカーテンで静かに読書や気持ちの落ち着ける半個室を作りました。いずれもパーテーションを使用した構造化によるものであり、学校や他事業所を参考とさせていただきました。「静かに使う部屋」であるため、原則として音の出るおもちゃや賑やかに過ごす活動は行わず、キュール本館とキュール別館とを用途や利用児の状態を使い分けて使用する事が出来る様になりました。

### 5. ボランティア

長期休暇中の8月夏休み、12月冬休みは最も利用児数が多くなりますので、祝日・長期休暇中の非常勤職員の加配だけではなくボランティアも募りました。その協力により、別紙1のようなイベントの実施ができています。

### 6. 保護者との連携、関わり

○連絡ノート-----毎日の報告、伝達

○キュール通信---毎月の発行(児童のキュールでの様子、お知らせ等)

○茶話会-----2日間の開催(担当職員、管理栄養士、センター長)

19家族の参加あり

27年度の茶話会の際に、親子行事としてハビリ地域フェスティバルへの参加の声がありましたので、28年度には保護者に参加していただきました。

## 平成28年度 茶話会まとめ

表6

日程：平成29年1月19日(2回)、24日(1回) 場所：高知ハビリテレーリングセンター会議室 内容：1. 自己紹介 2. キュール紹介(パワポ) 3. 昼食の試食 4. 質疑応答など 参加者総数：19名
<b>【保護者の感想】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・食事が美味しくバランスも考えられていて嬉しい。</li><li>・子供によっては食べない物があるが、食べれる物が増える事は嬉しいので、食べる事を支援として勧めてもらいたい。</li><li>・土曜日の活動が豊富(屋外、施設外)で嬉しく思う。</li><li>・学校とは違う場所に安心して通え、そこで新しい友達が出来て嬉しいです。</li><li>・イベントの時、必要な持ち物も書いて下さっているので、子供が準備するようになった。</li><li>・路線バスで帰る時、最後まで見送って下さるので安心です。</li><li>・長期の行事を本人も楽しかったと話してくれて、面白い感想を聞く事が出来る。</li><li>・大人も社会科見学に参加したいと思うものもあるほど。</li></ul>

- ・同じ障害を持つ方が就労している風景を見る事が出来るのは将来を見据えても非常にいい経験になった（ワークスマらい、ストロベリーフィールズ）

【ご意見や要望】

- ・土曜日の予定が分かると、もっと参加させたい。  
⇒家族へ手紙で知らせる。
- ・兄弟児のイベント参加や、兄弟児のケア講習など可能であれば検討して頂きたい。  
⇒ペアレント関連の研修等情報提供を行う。兄弟児も保護者と共に参加可能。
- ・保護者向け勉強会があればお願いしたい（年金や制度、災害時の事とか）
- ・宿泊の体験や経験は重要で、キュール内でも検討して貰いたい。  
⇒ハビリテーリングセンターのショートステイを紹介し申込みれた。
- ・好評なイベントや社会科見学は、日を増やして企画して貰いたい。  
⇒保護者との参加は可能であること。別日開催も検討。
- ・他の放課後等デイサービス事業所との情報交換はあるか？  
⇒高知県が事務局で児童発達支援管理責任者の会、また他事業所との連携を取る体制はあり、子供の支援について、活動の様子を話している。
- ・音楽療法が決まっている曜日なので、参加させたいが参加できない。  
⇒森岡先生に相談し曜日の検討を行う。
- ・キュールの職員が不在で、「折り返す」と言われ、その後、連絡がなかった。  
⇒連絡の不備を謝罪。キュールの外線 PHS の購入を進めている事と、メールアドレスや FAX 等も使用可能である事を伝える。
- ・数か月前に 1 回あったが、送迎時間が 30 分程前後する際には、家族に連絡が欲しい。  
⇒連絡する事を徹底する。

平成 28 年度 高知ハビリテーリングセンター  
特定・一般・障害児相談支援事業報告

《特定相談支援事業所》

1. 利用者推移（平成 29 年 3 月末時点）

表 1

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
新規	3	1	4	4	2	5	3	2	4	5		2
終了	2	1	2	3	2	3	3	1	2	2	1	2
累計	132	132	134	135	135	137	137	138	140	143	142	142
更新・変更	10	12	8	7	20	13	9	10	7	11	23	13
モニタリング	20	20	18	18	20	31	22	21	20	24	26	32

2. 市町村別 契約利用者数（平成 29 年 3 月末時点）

表 2

市町村	高知市	南国市	香美市	香南市	安芸市	室戸市	土佐清水市	宿毛市	土佐市	須崎市	中土佐町	四万十町	黒潮町	佐川町	いの町	津野町	田野町	安田町	大豊町	土佐町	仁淀川町	香芝市
数	96	8	5	2	2	3	2	1	3	1	2	1	1	1	7	1	1	1	2	1	1	1

3. 事業別利用者数（平成 29 年 3 月末時点）表 3

事業名	利用者数
機能訓練	16
生活訓練	8
生活介護	9
就労移行支援	13
就労継続支援 B 型	76
短期入所	10
ハビリ以外のサービス	8

《障害児相談支援事業所》

1. 利用者推移（平成 29 年 3 月末時点）

表 4

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
新規												1
終了											1	1
累計												
更新・変更	4	4	0	2	1	2	8	2	5	4	7	0
モニタリング	1	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	1

## 2. 市町村別 契約利用者数（平成 29 年 3 月末時点）

表 5

市町村	高知市	南国市	香美市	香南市	安芸市	室戸市	土佐清水市	土佐市	中土佐町	佐川町	いの町	田野町	大豊町	安田町	津野町	仁淀川町	黒潮町	香芝市
人数	37										2							

## 《一般相談支援事業所》

表 6

地域移行支援	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録者数	1	3	4	4	3	5	4	3	3	3	2	1	36
終了者	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	1	1	6

表 7

地域定着支援	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録者数													0
終了者													0

平成 28 年度の地域定着支援の対象となる方は 2 名おられましたが、その 2 名の方は利用については拒否をされた為、0 となりました。

H28 年度 高次脳機能障害支援拠点委託事業  
「高次脳機能障害相談支援センター」事業報告

1. 活動報告

活動一覧

表 1

開催月日		活動内容
4 月	7 日	NPO 法人脳外傷友の会 第 16 回全国大会 2016 in 高知打合せ
5 月	13 日	高知県特別教育支援教育 校長会に参加・広報
6 月	1 日	高次脳機能障害者支援地域研修会打合せ
	4 日	平成 28 年度特定相談支援事業所向け高次脳機能障害研修会
	22 日	平成 28 年度第一回高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議及び 高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会(埼玉)
	23 日、24 日	平成 28 年度 高次脳機能障害支援普及事業関係職員研修会(埼玉)
	25 日	高次脳機能障害支援拠点職員研修会
7 月	2 日	環瀬戸内海ネットワーク会議及び 平成 28 年度愛媛県高次脳機能障害支援拠点機関講習会(愛媛県)
	4 日	高知新聞取材 I
	7 日	NPO 法人脳外傷友の会 第 16 回全国大会 2016 in 高知打合せ
	16 日	高知新聞取材 II
8 月	3 日	高次脳機能障害者支援地域研修会(須崎ブロック)
	10 日	高知新聞取材 III
	16 日	高次脳機能障害者支援地域研修会(幡多ブロック)
	27 日	子どもたちの高次脳機能障害研修会—子どもの脳と発達—
	31 日	高次脳機能障害者支援地域研修会(中央西ブロック)
9 月	7 日	高次脳機能障害者支援地域研修会(安芸ブロック)
	13 日	高次脳機能障害者支援地域研修会(高知ブロック)
	15 日、16 日	第 40 回神経心理学会学術総会(熊本県)
	20 日	高次脳機能障害者支援地域研修会(中央東ブロック)
	24 日	高次脳機能障害支援普及事業四国ブロック会議(愛媛県)
10 月	7 日、8 日	NPO 法人脳外傷友の会 第 16 回全国大会 2016 in 高知 高次脳機能障害支援コーディネーター研修会(7 日)
11 月	10 日、11 日	職業リハビリテーション研究・実践発表会(東京都)
	11 日、12 日	第 40 回高次脳機能障害学会学術総会(長野県)
	17 日、18 日	身体障害者リハビリテーション研究集会 2016(群馬県)
12 月	9 日	神経心理学勉強会 I
1 月	13 日	神経心理学勉強会 II
	21 日	小児高次脳機能障害家族会
	28 日	高次脳機能障害地域生活援助者養成研究事業 全国研修会(愛知県)
2 月	10 日	神経心理学勉強会 III
	17 日	第二回高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議及び 高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会(東京都)

3月	4日	高次脳機能障害支援拠点職員研修会
	10日	神経心理学勉強会 IV
	11日	小児高次脳機能障害家族会
	16日	平成28年高知県高次脳機能障害支援委員会(高知市)

2. 相談業務 のべ相談件数

相談支援(支援コーディネーター)

表2

	面接	電話	訪問	カンファレンス	合計
4月	1件	2件	0件	0件	3件
5月	1件	2件	0件	0件	3件
6月	0件	3件	0件	0件	3件
7月	0件	6件	0件	0件	6件
8月	2件	1件	0件	0件	3件
9月	0件	0件	0件	0件	0件
10月	1件	1件	0件	0件	2件
11月	0件	1件	0件	0件	1件
12月	2件	4件	0件	0件	6件
1月	0件	14件	0件	0件	14件
2月	1件	15件	1件	0件	17件
3月	3件	4件	0件	0件	7件
合計	11件	53件	1件	0件	65件

○上記のべ相談件数の内、

コーディネーターが情報提供や医療機関等への  
紹介等支援を行った件数

表3

4月	1件
5月	1件
6月	0件
7月	5件
8月	1件
9月	0件
10月	0件
11月	1件
12月	4件
1月	8件
2月	7件
3月	9件
合計	37件

○上記の件数の内、新規相談件数

表4

4月	3件
5月	0件
6月	0件
7月	3件
8月	3件
9月	0件
10月	2件
11月	1件
12月	3件
1月	1件
2月	4件
3月	7件
合計	27件

月	電話	面接	同行・訪問	検査等	カンファレンス等	その他	合計	うち 新規
4月	5件	1件	0件	0件	1件	0件	7件	3件
5月	8件	1件	0件	0件	0件	0件	9件	3件
6月	3件	0件	0件	0件	0件	0件	3件	3件
7月	10件	1件	1件	1件	0件	0件	11件	4件
8月	5件	1件	0件	0件	0件	1件	7件	4件
9月	12件	3件	0件	0件	0件	0件	15件	4件
10月	17件	14件	0件	0件	0件	2件	33件	5件
11月	10件	11件	0件	0件	0件	0件	21件	0件
12月	9件	9件	0件	0件	0件	5件	23件	4件
1月	18件	5件	0件	0件	0件	3件	26件	1件
2月	22件	10件	1件	0件	0件	1件	34件	3件
3月	12件	5件	0件	0件	0件	1件	18件	1件
合計	131件	61件	2件	1件	1件	13件	207件	35件

## 3. 研修会

## 【施設内研修】

## ①平成 28 年度特定相談支援事業所向け高次脳機能障害研修会

開催日時：2016 年 6 月 4 日(土)

13：00～17：00

当日参加者数：23 名(特定相談支援事業者)

内容：1) 開会挨拶

高次脳機能障害相談支援センター センター長 上田真弓

2) 「高次脳機能障害者支援資源マップと活用方法について」

発表者：高次脳機能障害相談支援センター 社会福祉士 甲斐亜弥子

3) 「高次脳機能障害について」

発表者：高次脳機能障害相談支援センター 臨床心理士 古庄由利恵

4) 「人を援助することの意味」(講義とグループワーク)

講師：指定居宅介護支援事業所支援センターこふじ 主任介護支援専門員 西森柳子氏

5) 閉会

## ②高次脳機能障害支援拠点職員研修会

開催日時：平成 28 年 6 月 25 日(土)

9：30～13：00

開催場所：高知ハビリテーリングセンター

講師：帝京平成大学大学院 臨床心理学研究科 教授 中島 恵子先生

当日参加者数：36 名(高知ハビリテーリングセンター職員)

内容：1)開会

- 2) 事例検討①
- 3) 事例検討②
- 4) 抄録発表：高次脳機能障害相談支援センター

### ③神経心理学勉強会

開催場所：高知ハビリテーリングセンター

対象者：心理職

開催時間：18：30～20：00

参加者

- 第一回目「神経心理学によろこそ」：2016年12月16日(金) 1名
- 第二回目「脳を知ろう—部位と画像」：2017年1月13日(金) 7名
- 第三回目「中枢神経系の神経症状の鑑別」：2017年2月10日(金) 4名
- 第四回目「神経心理学的検査(理論背景)」：2017年3月10日(金) 5名

内容：1)開会

- 2)メンバー発表
- 3)講義(高次脳機能障害相談支援センター 臨床心理士 古庄由利恵)
- 4)次回テーマ設定
- 5)閉会

### 【施設外研修】

#### ①子どもたちの高次脳機能障害 —子どもの脳と発達—

開催場所：高知大学総合情報センター 図書館 メディアの森6F メディアホール

開催日時：2016年8月27日(土)

10：00～15：00

講師：帝京平成大学大学院 臨床心理学研究科 教授 中島 恵子先生

当日参加者数：27名

内容：1)開会

- 2)『子どもの発達』
- 3)『小児の高次脳機能障害の理解と対応』
- 4)質疑応答
- 5)閉会

#### ②NPO 法人脳外傷友の会 第16回全国大会 2016 in 高知

高次脳機能障害支援コーディネーター研修会

土佐サミット ～伴走者みんなあで考えようせ 高次脳機能障害～

開催日時：平成28年10月7日(土)13：00～16：30 (高知市文化プラザ かるぼーと)

当日参加者数：46名

内容：1)開会挨拶

- 2)リラクゼーションタイム
- 3)参加者自己紹介
- 4)報告『高知県における支援拠点の取り組みの現状および課題』

発表者：高次脳機能障害相談支援センター 支援コーディネーター 久保内幸彦



5) グループワーク

ファシリテーター：高知県立大学社会福祉学部教授 田中きよむ

高次脳機能障害相談支援センター センター長 上田真弓

6) 閉会

③高次脳機能障害者支援地域研修会(全6回)

目的：高知県における高次脳機能障害の現状とその障害がある人への理解を深める為に開催する。

内 容：1)開会挨拶

2)「高次脳機能障害への支援について」

講師：南国中央病院 副院長 宮本 寛氏

3)「子どもたちの高次脳機能障害への支援について」

講師：高次脳機能障害相談支援センター 支援コーディネーター

4)事例検討（グループワーク）

5)発表・質疑応答

6)『『日本脳外傷友の会第16回全国大会2016 in 高知』の紹介』

講師：高知県地域福祉部障害保健福祉課 主査 森光 将志氏

7)閉会

当日参加者数

表 6

職 種	安芸	中央東	高知	中央西	須崎	幡多	合計
①医師	0	0	0	0	2	0	2
②看護師	1	0	3	3	7	4	18
③保健師	1	2	0	4	2	0	9
④理学療法士	1	0	0	1	0	3	5
⑤作業療法士	1	2	4	1	1	1	10
⑥言語聴覚士	1	0	0	0	0	0	1
⑦心理士	0	0	3	0	0	2	5
⑧栄養士	1	0	0	0	0	0	0
⑨介護支援専門員	1	0	1	5	0	2	9
⑩介護職	0	0	4	0	1	0	5
⑪相談支援専門員	0	2	1	6	1	0	10
⑫管理者・サビ管等	1	0	1	2	2	7	13
⑬支援員	3	5	9	7	7	11	42
⑭ソーシャルワーカー等	3	0	2	1	1	7	14
⑮弁護士	0	0	0	0	1	0	1
⑯その他	1	0	5	1	0	3	10
合 計	15	11	33	31	25	40	154

【家族教室】

開催時間：10：00～11：30

開催場所：高知ハビリテーリングセンター

講師：高知ハビリテーリングセンター 臨床心理士 古庄 由利恵

概要：高次脳機能障害の代表的な10症状について

表7

回数	内容	土曜日コース	日曜日コース
第1回目	脳ってなあに？	平成28年5月21日 8名(家族：7名、支援員：1名)	平成28年5月29日 9名(家族：8名、支援員：1名)
第2回目	注意障害	平成28年6月18日 7名(家族：6名、支援員：1名)	平成28年6月26日 7名(家族：6名、支援員：1名)
第3回目	失認症	平成28年7月16日 6名(家族：5名、支援員：1名)	平成28年7月24日 7名(家族：6名、支援員：1名)
第4回目	失語症	平成28年8月20日 5名(家族：4名、支援員：1名)	平成28年8月28日 7名(家族：6名、支援員：1名)
第5回目	失行症	平成28年9月24日 6名(家族：5名、支援員：1名)	平成28年9月25日 7名(家族：6名、支援員：1名)
第6回目	記憶障害	平成28年10月15日 6名(家族：5名、支援員：1名)	平成28年10月23日 7名(家族：6名、支援員：1名)
第7回目	地誌的障害	平成28年11月19日 5名(家族：4名、支援員：1名)	平成28年11月27日 8名(家族：7名、支援員：1名)
第8回目	半側空間無視 半側身体失認	平成28年12月17日 5名(家族：4名、支援員：1名)	平成28年12月25日 5名(家族：4名、支援員：1名)
第9回目	社会的行動障害	平成29年1月21日 5名(家族：4名、支援員：1名)	平成29年2月5日 9名(家族：8名、支援員：1名)
第10回目	遂行機能障害	平成29年2月25日 6名(家族：5名、支援員：1名)	平成29年2月19日 9名(家族：8名、支援員：1名)

※1：各教室に2人ずつ当日参加が難しい為、資料のみ提供を受けている家族あり。

※2：欠席家族に対しては、翌月に資料提供を行っている。

※3：日程変更の都合がつかない場合は、個別に教室内容を面接にて応じている。

【小児高次脳機能障害家族会】

会目的：小児高次脳機能障害の理解促進

開催場所：高知ハビリテーリングセンター

対象者：小児高次脳機能障害の家族

第一回目小児高次脳機能障害家族会

開催時間：1月21日(土) 13：00～15：00

当日参加者数：5名(家族：2名、支援者：3名)

内容：1)開会

- 2) 自己紹介
- 3) 小児高次脳機能障害について
- 4) 本日のまとめ
- 5) 閉会

※支援者のうち2名は、支援拠点職員。1名は外部小児科医。

#### 第二回目小児高次脳機能障害家族会

開催時間：3月11日(土) 13:30～15:30

当日参加者数：6名(家族：2名、当事者：2名、支援者：2名)

内容：1)開会

2)家族「日常における不安事項」・当事者「自己紹介」、「創作活動」

3)本日のまとめ

4)閉会

※支援者2名は、支援拠点職員

## 平成 28 年度 高知ハビリテーリングセンター(全体)報告

### 1. 利用者行事(文化・芸術活動、スポーツ活動参加等)

表 1

月日	行 事
4 月 8 日	はるの食事会
4 月 12 日・14 日	自立訓練・生活介護遠足(サーカス・食事会)
5 月 29 日	高知県障害者スポーツ大会
7 月 2 日	アビリンピック
7 月 24 日	頭脳スポーツ大会
7 月 28 日	文月祭
9 月 6 日	防犯訓練(高知南警察署)
9 月 21 日	障害者雇用合同面接会
9 月 25 日	高知県障害者スポーツ大会(フライディングディスク)
10 月 7 日～16 日	スピリッツアート展
10 月 22 日	ハビリ地域フェスティバル
10 月 29 日	ソルト芋掘り交流会
11 月 3 日	就労移行遠足(モネの庭)
11 月 3 日・23 日	B 型交流会
11 月 4 日～6 日	春野町文化祭
11 月 15 日	丑ノ助学園芋掘り交流会
12 月 8 日	水害訓練
12 月 22 日	クリスマス会
12 月 27 日	餅つき
1 月 29 日	駅伝大会(スポーツセンター)
2 月 11 日	卓球大会(スポーツセンター)
3 月 5 日	ボッチャ大会
3 月 9 日	消防訓練
3 月 30 日	消防訓練(キュール)

### 2. 利用者の健康管理(看護師)

#### (1)健康診断実施状況

施設入所者の利用者は、年 2 回の健康診断を受けることが必要

1) 施設入所者：平成 28 年 11 月 1 日～10 日 (5 日間) 28 名実施

\*健康診断項目：胸部 X-P・心電図(40 歳以上)・血液検査・検尿検査・視力検査・聴力検査  
 血圧測定・体重測定・腹囲測定・医師より検査結果の説明と診察

2) 施設入所者：平成 28 年 6 月 11 名実施

平成 29 年 2 月 11 名実施

\*健康診断項目：医師の問診と診察・血圧測定・体重測定・腹囲測定

3) 就労継続 B 型利用者：平成 28 年 7 月・8 月・9 月 計 52 名

\*健康診断項目：医師の問診と診察・血圧測定・体重測定

平成 28 年度は健康管理手帳を作成し利用者に配布したこともあり、健康に関する意識が徐々に上がってきているのか、施設全体の利用者が毎日 40～80 名血圧測定をされ、年間一日平均 54 名でした。また、健康管理手帳には、血圧値・排泄状況・体重などできるだけ自分で記録してもらうことにしました。

(2)内服薬の管理状況(平成 29 年 3 月末時点)

<施設入所利用者>

表 2

管理方法	人数
全面的に管理	14～16 名
食堂で 1 週間分の管理	4～6 名
自室に 1 週間分渡しで管理	8～10 名

<はるのハビリホーム入所者>

表 3

管理方法	人数
1 週間分の管理	7～9 名
毎週木曜日インシュリン注射	1 名

(3)処置

- ・透析後の針刺入部の観察
- ・自己導尿の指導
- ・皮膚の観察と軟膏処置

(4)その他

1) インフルエンザ罹患者：8 名

施設入所：5 名
自立訓練通所：1 名
はるのハビリホーム：1 名
B 型通所：1 名

2) 救急車要請：6 回

施設入所：2 名，各 2 回 痙攣発作・意識状態の低下
はるのハビリホーム：2 名 痙攣発作・転倒による大腿骨転子部骨折

※外出中に救急搬送：2 名

8 月 11 日、9 月 23 日

3. 利用者の栄養管理(管理栄養士)

(1)個人の身体状況に合わせて食事量や食形態を決定し提供

基礎疾患がある利用者に対しては、食事箋に基づき療養食（糖尿病食、腎臓病食、脂質異常症食等）を提供しました。（表 4 参照）

## 療養食提供状況

表 4

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
食数	228	183	172	196	180	186	205	199	237	240	311	357

※食種：脳血管疾患（塩分制限食）33%、糖尿病食：33%、脂質異常症食：11%、腎臓病食：11%、肝臓病食（代償期）：5%：高度肥満症食：5%

## (2) 食事メニュー

給食委託会社と連携し、食事アンケートの結果(別紙2)を基に利用者の意向を反映しつつ、季節感のある食事メニューを作成し、イベントの企画と合わせて食事の満足度を上げる取り組みを行いました。(別紙3)

## (3) 社会適応力を意識しての取り組み

平成 28 年度は「骨あり魚」のみならず、パック調味料、お餅などの提供も試みました。そして、施設入所利用者の転帰先に合わせて、栄養に関する情報提供(栄養量や間食の上手な摂り方)を行うと共に、実際に調理訓練を通して栄養バランスの取れたメニューの作成や調理方法などの助言を行いました。

## (4) 食堂セルフ化に向けての取り組み

平成 28 年度 6 月に利用者は模擬体験を実施し、8 月には各部主任もしくはリーダーで委員会を立ち上げ、平成 29 年 2 月より昼食時のみ 2F 食堂でセルフ化を試行しました。器に盛られたモノをお膳に載せる形ではありますが、障害に応じて可能な利用者はセルフで、困難な利用者には職員が配膳しています。職員は交代制で関わり、利用者は少しずつ慣れてきました。

## 4. 職員の安全衛生管理

○業医による職場巡視 12 回/年（毎月第 3 木曜日）

\*指摘された環境改善事項は、各部署でその都度対応し改善

\*職員自身の衛生管理や環境の美化意識も定着

○生管理者の 2 週間に 1 回の職場巡視

○近森会グループの安全衛生委員会出席（月 1 回）

## ①職員健康診断状況について（100%実施）

\*特に血圧が高い…24%（血圧正常値 130～85mmHg）

\*痩せ域…4%

\*肥満 1 度・2 度…16%（肥満域だが BMI は正常の方が多い）

\*貧血…12%

\*HbA1c が 5.8 以上…28%

\*脂質異常…21%

\*尿酸値の高い…7%

## ②トレスチェック受検者 52 名 受検率 57%（ウエーブを含む）

\*高ストレス該当者：12%

\*高ストレス非該当者：88%

## ③職員のインフルエンザ予防接種実施者： 49 名（64%）

\*職員のインフルエンザ罹患者：3 名

## 5. 職員の委員会活動

表 5

委員会名	職員数	活動内容
感染委員会	7名	ペーパータオル、ハンドソープ等の在庫管理、発注
システム委員会	6名	システムの不具合状況を日々確認
災害対策委員会	7名	災害マニュアル作成、県に提出
図書委員会	4名	本の貸し出し確認、新刊の検討、購入
スポーツ委員会	6名	利用者対象もしくは職員のスポーツ大会の連絡調整
行事・地域ふれあい・食の委員会	9名	季節行事や地域住民との交流行事企画、運営、地域行事参加、情報提供
メディア・広報委員会	5名	法人広報誌「ふくらむ」の発行、HP作成準備
		利用者に写真の提供(注文表等)
高次脳機能障害支援委員会	3名	支援拠点業務をフォロー、高次脳機能障害支援について施設内職員のリーダーシップをとっていく知識を備える

※兼務あり

## 6. 職員会議

表 6

会議名		開催日	開催時間
職員会		毎朝	8:30-8:45
		毎夕	16:50-17:00
		第2火曜日	16:10-17:00
幹部会		毎月第1・3火曜日	15:00-17:00
利用一次判定会・支援会		随時	
各科会議	自立訓練	不定期	15:00-16:00
	就労移行	毎週木曜日	16:15-17:00
	就労B型	毎週金曜日	16:15-17:00
	施設入所	毎月1回(月末)	17:00-18:00
	世話人	毎月1回	9:00-10:00
	ソーシャルワーカー	週1回	9:00-10:00
プログラム検討会		毎月1回	16:00-17:00
スポーツセンターとの会		毎月1回	15:00-16:00
自治会との会		必要に応じて開催	16:00-16:50

## 7. 事故・破損等

## (1) 事故件数

9件(施設内・周辺事故 2件、車両関係事故 7件) ※保険対応 4件含む

## (2) 施設・設備・備品等の破損件数

103件(施設内・周辺破損 101件、車両関係破損 2件)

## 8. 送迎関係の変遷（1日平均・平日）

表 8

	平成 26 年度末 (27. 3. 26)	平成 27 年度末 (28. 3. 31)	平成 28 年度末 (29. 3. 31)
一般送迎利用者数 (登録含む)	53 名	53 名	61 名
使用車両	6 台	6 台	6 台
1 日の運行回数 (一般送迎)	19 回	20 回	22 回

## 9. 助成事業について

○高知県共同募金会「平成 28 年度NHK歳末たすけあい助成事業」

「クリスマス会」「もちつき大会」の経費として利用者一人当たり 1,000 円の助成

- ・総事業費 267,587 円（内 140,000 円助成）… 高知ハビリテーリングセンター
- ・総事業費 137,568 円（内 56,000 円助成）… キュール

○生活習慣病予防健診及びがん検診受診（協会けんぽ）

近森健診以外に日赤にて生活習慣病予防健診（35 歳以上）及びがん検診（20～38 歳の偶数年齢の女性対象）を希望者が受診。受診件数は以下のとおり。自費での受診となるが平成 29 年度も対象者には声掛けを行う。

- ・生活習慣病予防健診 … 8 件
- ・がん検診（単独） … 4 件
- ・生活習慣病予防健診+がん検診 … 2 件

○福利厚生センター（ソウェルクラブ）利用実績（別紙 4）



10. 外部団体見学・研修			
			※研修医・個別見学除く
年月日	施設名	人数	施設案内担当
2016年5月28日	新居浜障害者連合会	13名	甲斐
6月7日	若草養護学校高等部(生徒・保護者・教職員)	16名	甲斐・久保内
6月23日	工賃向上委員会	7名	久保内
6月23日	あさくら	5名	赤瀬
7月5日	日高村民生児童委員協議会	12名	赤瀬・久保内
7月25日	近森病院附属看護学校(生徒・教職員)	40名	赤瀬・甲斐・久保内
8月23日	特別支援教育研究会	30名	赤瀬・甲斐・久保内
8月30日	高知発達障害当事者会	5名	赤瀬
9月13日	高知ハビリテーション学院	5名	赤瀬
9月23日	高知東高等学校	30名	赤瀬・甲斐
10月21日	社会福祉法人 てくとこ会(就労支援事業所 オーシャンクラブ)	利用者20名・職員4名	久保内
11月11日	社会福祉法人 てくとこ会(障害福祉事業所てくとこせと)	3名	甲斐
12月7日	高知ろう学校(保護者・教職員)	3名	久保内
12月14日	高知大学教育学部附属特別支援学校高等部	教諭1名	久保内
12月19日	高知県立若草養護学校子鹿園分校	学生5名・引率5名	甲斐
2017年1月17日	リットの風(支援員)	3名	久保内
2月10日	社会福祉施設士	10名	赤瀬・甲斐
11. 出張			
月日	研修名	開催地	参加人数
2016年4月28日	平成28年度第一回中国・四国ブロック施設長会議	岡山県	1名
6月22日～24日	平成28年度 第一回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会 平成28年度 第一回支援コーディネーター全国会議 平成28年度 高次脳機能障害支援普及及事業関係職員研修会	埼玉県	1名
7月2日	平成28年度 環瀬戸内ネットワーク会議 平成28年度 愛媛県高次脳機能障害支援拠点講習会	愛媛県	2名
9月15日～16日	第40回日本神経心理学会学術集会	熊本県	1名
9月24日	高次脳機能障害支援普及事業四国ブロック会議	愛媛県	1名
9月29日～30日	平成28年度中国・四国ブロック地区身体障害者更生施設長会・職員研修会	島根県	3名
10月13日	創立40周年記念講演	東京都	1名
11月10日～11日	第24回職業リハビリテーション研究・実践発表会	東京都	2名
11月11日～12日	第40回日本高次脳機能障害学会学術総会	長野県	3名
11月16日	全国身体障害者更生施設長会総会	群馬県	1名
11月17日～18日	身体障害者リハビリテーション研究集会2016	群馬県	4名
2017年1月25日～1月27日	平成28年度 第2回就業支援スキル向上研修	千葉県	1名
1月27日～1月28日	高次脳機能障害地域生活援助者養成研究事業 全国研修会	愛知県	1名
2月17日	第2回高次脳機能障害支援普及全国協議会・支援コーディネーター全国会議	東京都	1名
12. 研修会参加者(外部)			
2016年4月27日	第5回グットセミナー	高知市	1名
5月17日	2016年度 ボランティアコーディネーター研修	高知市	2名
5月25日	臨床研究会愛媛祭主催勉強会	高知市	1名
5月26日	「品質マネジメントシステム研修」第1回『ISO9001規格要求理解』	高知市	1名

6月7日～6月8日	福祉現場の新任職員研修	高知市	2名
6月7日	第6回ゲットセミナー 服薬について	高知市	1名
6月16日	「地域の安全・防犯について」	高知市	1名
7月11日・13日・20日	就労支援基礎研修	高知市	1名
7月19日・20日	平成28年度高知県相談支援従事者「初任者」研修	高知市	3名
7月20日～21日	平成28年度 福祉職場の中堅職員ファーストステップ研修	高知市	2名
7月23日・7月24日	精神科スキルアップ研修 SST研修会 初級コース	高知市	1名
7月28日	脳卒中の歩行問題分析と解決手段 歩行・装具・運動学習	高知市	1名
9月6日	チームワーク向上研修セミナー	高知市	2名
9月12日	平成28年度 福祉サービス苦情解決セミナー	高知市	1名
9月21日	中堅職員ステップアップ研修会	高知市	2名
10月2日	利用者の健康を守る健康管理の学習を通じたケアの質向上	高知市	1名
10月5日	平成28年度 施設内感染対策研修会	高知市	2名
10月12日	平成28年度安全運転管理者講習	高知市	1名
10月26日～28日	平成28年度 高知県相談支援従事者現任研修	高知市	1名
11月11日・12月19日・20日	サービス管理責任者等研修	高知市	2名
12月6日	第8回ゲットセミナー「上手な人付き合いを目指すために」	高知市	1名
12月12日	平成28年度サービス管理責任者等研修 就労分野	高知市	1名
12月12日・1月13日	平成28年度高知県障害者虐待防止・権利擁護研修	高知市	2名
2017年1月20日	平成28年度高知県就労センター協議会 合同職員研修会	高知市	1名
2月2日	平成28年度第2回発達障害者就労支援セミナー	高知市	1名
2月5日	クリーニング師の資質向上を図るための研修	高知市	1名
2月27日	平成28年度 就労検討会新人研修会	高知市	1名
3月7日	若年性認知症について学ぶ	高知市	1名
3月11日～3月12日	平成28年度サービス管理責任者等スキルアップ研修	高知市	5名
3月31日	罪に問われた障害者の刑事弁護の体制設備等に関する研修	高知市	1名
<b>13. 研修参加者(内部)</b>			
<b>月日</b>	<b>研修名</b>	<b>講師</b>	<b>参加人数</b>
2016年6月25日	高次脳機能障害支援拠点職員研修中島教室①	中島 恵子氏	37名
2017年2月18日	法人勉強会「事例検討」「発達障害について」	是永 かな子氏	32名
3月14日	障害者虐待を考える	松下 睦氏	32名
3月27日	障害者の刑事弁護	高野 亜紀氏	25名
<b>14. 実習生</b>			
<b>期間</b>	<b>所属</b>	<b>人数</b>	
5/16～5/28	学校法人 龍馬学園 龍馬看護ふくし専門学校	2名	
7/25～8/5	学校法人 龍馬学園 龍馬看護ふくし専門学校	2名	
9/5～9/16	広島国際大学総合リハビリテーション学部	1名	
2016/12/14	平成福祉専門学校	3名	
2017年3/6～3/15	学校法人 龍馬学園 龍馬看護ふくし専門学校	2名	

# 2016 年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	1 AMクミコップ PMクッキー	1	1	1	1 牧野植物園	1	1 ドライブ (伊野町沈下橋)	1	1	1	1	1
	2	2	2	2	2 AMプール PMカキ氷	2	2	2	2	2	2	2
	3	3	3	3	3 AMプール PM流しそうめん	3	3	3	3	3 潮天満宮初詣	3	3
	4 電車見学	4	4	4	4 AMプール PMスタンプラリー	4	4	4	4	4 四国電力出前授業	4 ドライブ (春野展望台)	4
	5	5	5	5	5 PMクライミング	5	5	5 ドライブ (高須コスモス畑)	5	5 伊野紙すき体験	5	5
	6 城西公園お花見	6	6	6 音楽療法	6	6	6	6	6	6	6	6
	7	7 土曜日開所	7	7	7	7	7	7	7 音楽療法	7 ドライブ (春野運動公園)	7	7
	8	8	8 音楽療法	8	8 PM岡崎牧場見学	8	8 ドライブ (近森看護文化祭)	8	8	8	8 音楽療法	8 音楽療法
	9	9	9	9	9 AM心まわり乳業 PMプール	9	9	9 音楽療法	9	9	9	9
	10	10	10	10	10 AMプール PM音楽療法・カキ氷	10 ドライブ (春野運動公園)	10	10	10 ドライブ (児童作品展見学)	10	10	10
	11 音楽療法	11	11 ドライブ (わんぱーく高知)	11	11 AMまさこい見学 PMプール・そうめん	11	11	11	11	11 音楽療法	11	11 ドライブ (春野展望台)
	12	12	12	12	12	12 音楽療法	12	12 ドライブ (大型船地球見学)	12	12	12	12
	13 音楽療法	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
	14	14 ドライブ(高知新港)	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
	15	15	15	15	15 PMドライブ	15	15	15	15	15	15	15
	16	16	16	16	16 AMプール	16	16	16	16	16	16	16
	17	17	17	17	17 AM市営プール PMスタンプラリー	17	17	17	17	17	17	17
	18	18	18 ドライブ (あじさいお花見)	18 5事業所合同運動会	18 AMプール PM出前教室・カキ氷	18	18	18	18	18	18	18
	19	19	19	19	19 AMハビリアプール PM流しそうめん	19	19	19	19	19	19	19
	20	20	20	20	20 AMハビリアプール	20	20	20	20	20	20	20 8事業所合同 卓球バレー大会
	21	21 ドライブ(新居海岸)	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
	22	22	22	22 AMプール	22 調理実習 (カレー作り)	22	22	22	22	22	22	22
	23	23	23	23	23 AMプール PMスイカ割り	23	23	23	23	23 クリスマス会	23	23
	24	24	24	24	24 交通公園遠足	24	24	24	24	24	24	24
	25	25	25	25	25 PMカキ氷	25	25	25	25	25	25	25
	26	26	26	26	26 AMプール PM流しそうめん	26	26	26	26	26	26	26
	27	27	27	27	27 AMプール	27	27	27	27	27	27	27
	28	28 ドライブ (豪華客船見学)	28 音楽療法	28 AMプール	28	28	28	28	28	28	28	28
	29 卓球バレー大会	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29
	30	30	30	30	30 AM消防署見学 PMプール	30	30	30	30	30	30	30
	31	31	31	31	31 AMプール	31	31	31	31	31	31	31

58

別紙 1



## 食事アンケートの結果 (平成28年5月実施分)



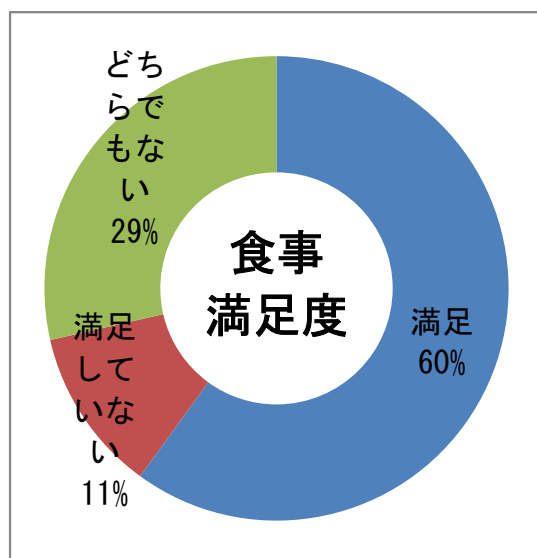
毎年実施している食事アンケートの結果、昨年同様、6割の利用者が「満足」と回答しました。

給食委託会社を高南メディカル(株)からエームサービスジャパン(株)に変更して丸3年が経過しましたが、高南メディカル提供時には「満足」が3割であったことから、年々満足度は上昇してきております。

当センターの周辺にはスーパーやコンビニ等がなく、提供する食事以外の食物を購入する環境が少ない為、特に施設入所（ハビリホーム含む）されている利用者にとっては、食事は楽しみのひとつであると考えています。

カレンダー上の行事以外でも、いつもとは違う、お楽しみ要素のある食事を提供し、満足度向上に取り組んでいきたいと考えています。

下記は、「美味しいメニュー」と「食べてみたいメニュー」を聞き取りした結果、声の多かった上位5つを上げています。今後のメニューに反映して行きたいと思います。



美味しいメニュー	食べてみたいメニュー
カレーライス	にぎり寿司
麺類（ラーメン、ぶっかけうどんなど）	焼肉
ハムカツ	刺し身（鰹のたたき）※
エビフライ	くだもの※
エビのチリソース	魚の干物

※現在提供はしているが、衛生上、提供出来ない期間（5～10月）があるものや、契約食材料費の関係により、頻度が少ないもの。

平成28年度 イベント食写真

<節分>



<ひなまつり>



<はるのお食事会>



<端午の節句：キュールおやつ>



<文月祭>○選択1：つけ麺



○選択2：冷やし中華



<冷やしそうめん>



<梅おろしかつ丼>



<吉野家の牛丼>



<鰹のたたき丼>



<手打ちそば (鶏南蛮) >



<クリスマス：ビーフシチュー>



<秋刀魚の塩焼き（骨あり）>



<キューールおやつ（新しいメニュー）>

○シリアルバー



○ドーナツ



○アメリカンドッグ



## ソウエル利用状況

月	事業	内容		金額
4月		対象者54名		
	センター事業 その他	情報誌『SowelClub』春号 配布	54名 現物支給	○
6月	高知県事務局 会員交流事業	家庭常備薬等の斡旋	希望小売価格からの差額	¥10,589
	センター事業 永年勤続記念品贈呈	永年勤続記念品	3名 現物支給 5,000円程度×3	¥15,000
	センター事業 お祝品贈呈	入学お祝い品	2名 商品券 5,000円×2	¥10,000
	センター事業 資格取得記念品贈呈	資格取得記念品	1名 現物支給 5,000円程度×1	¥5,000
	センター事業 健康生活用品給付	健康生活用品	54名 現物支給 3,000円程度×54	¥162,000
7月	センター事業 その他	情報誌『SowelClub』夏号 配布	54名 現物支給	○
		対象者1名減	53名 退会1名	
8月	センター事業 お祝品贈呈	結婚お祝い品	1名 商品券	¥10,000
		対象者1名減	52名 退会1名	
9月		対象者1名増	53名 退会1名、入会2名	
	高知県事務局 会員交流事業	ビアガーデン	12名 一般価格からの差額	¥26,400
10月	センター事業 その他	情報誌『SowelClub』秋号 配布	現物支給	○
	センター事業 その他	オリジナル手帳申請	現物支給	○
	センター事業 お祝品贈呈	結婚お祝い品	1名 商品券	¥10,000
	高知県事務局 会員交流事業	家庭常備薬等の斡旋	希望小売価格からの差額	¥10,500
11月	センター事業 お祝品贈呈	出産お祝い品	1名 商品券	¥10,000
	高知県事務局 会員交流事業	アウトレット買い物ツアー	2名 一般価格からの差額	¥14,800
12月		対象者1名増	54名 異動1名	
	センター事業 お祝品贈呈	出産お祝い品	1名 商品券	¥10,000
	高知県事務局 会員交流事業	映画チケット斡旋	57枚分 通常料金からの差額	¥57,000
	センター事業 その他	情報誌『SowelClub』冬号 配布	現物支給	○
3月		対象者2名減	52名 退会2名	
	センター事業 お祝品贈呈	結婚お祝い品	1名 商品券	¥10,000
	センター事業 生活習慣病予防健診費用助成	生活習慣病予防健診助成金	47名	¥161,700
通年	センター事業 その他	ウイズカウネット10%割引		○
			合計	¥522,989 + ○
	センター事業 健康生活用品給付	162,000	掛金	¥540,000
	センター事業 お祝品贈呈	60,000	<b>差額</b>	<b>¥-17,011 + ○</b>
	センター事業 資格取得記念品贈呈	5,000		
	センター事業 永年勤続記念品贈呈	15,000		
	センター事業 生活習慣病予防健診費用助成	161,700		
	センター事業 その他	0 + ○		
	高知県事務局 会員交流事業	119,289		
	合計	522,989 + ○		